

被災三県の住宅復興に関する実態把握調査（第10回調査）  
～ 木造住宅生産体制に関するアンケート ～  
【 調 査 結 果 】

令和3年1月

岩手県地域型復興住宅推進協議会  
宮城県地域型復興住宅推進協議会  
福島県地域型復興住宅推進協議会



被災三県の住宅復興に関する実態把握調査（第10回調査）  
～木造住宅生産体制に関するアンケート～  
【調査結果】

目次

1. 調査の概要	1
2. 集計結果	3
(1) 回答者の属性	3
1) 現在の主な業務内容	3
2) 現在（震災後）の事業エリア	4
(2) 受注の状況（元請けの木造住宅新築工事（建替え含む））	6
1) 現在の主な施主（発注者）	6
2) 現在の主な建設地	9
(3) 実施体制（元請の木造住宅新築工事（建替え含む））	10
1) 現在（震災後）の契約～着工までの期間及び着工～完成・引渡までの期間	10
2) 受注対応力（余裕の有無）	13
3) 他の市町村・県から、大工・職人等の応援は呼んでいるか	14
4) 大工・職人等の宿泊施設は足りているか（宿泊施設の余裕の有無）	15
5) 人材不足が発生している工事段階	16
6) 不足している建材・資材等	19
7) グループ内の工務店等での建材・資材の共同購入・仕入れ等の予定・意向	21
8) 現在、何ヶ月先までの新築工事契約が決まっているか	22
9) 現在、懸念していること	23
(4) 現在（震災後）の工事単価（請負金額）（元請の木造住宅新築工事（建替え含む））	25
(5) 地域材（自県産材）の活用の問題点	26
(6) 今後のマッチングサポート制度活用の意向	28
(7) 東日本大震災の復興後を見据えた地域住宅生産者グループに期待する取組み	30
(8) 今後の地域住宅生産者グループの活動への要望や必要な支援、 その他（コロナ禍の住宅受注・建築状況等）について	31

### 3. 全 10 回調査結果を踏まえた考察..... 3 3

(1) 受注対応力（余裕の有無）.....	34
(2) 他の市町村・県からの大工・職人等の応援状況.....	35
(3) 大工・職人等の宿泊施設の状況.....	36
(4) 工事種別人材の状況.....	37
(5) 建材・資材等の状況.....	41
(6) 契約～完成・引渡までの平均期間.....	45
(7) 平均工事単価（請負金額）の状況.....	46
(8) 地域材の活用.....	47
(9) マッチンサポート制度の活用.....	47
(10) 今後の地域住宅生産者グループの活動に向けて.....	48

<参考①> 被災三県の住宅復興に関する実態把握調査【第 10 回】 調査票.. 49

<参考②> 沿岸市町村・内陸市町村について..... 51

# 1. 調査の概要

---

被災三県の地域型復興住宅推進協議会は、地域ごとの問題特性を丁寧に把握していくため、これまで9回（平成25年2～3月および10月、平成26年7～8月、平成27年7～8月、平成27年12月～平成28年1月、平成28年9月～10月、平成29年11月～12月、平成30年11月～12月、令和元年11～12月）にわたり、三県合同で住宅復興に関する実態把握調査（アンケート調査）を行ってきた。

本調査結果は、報告書としてとりまとめ、各地域住宅生産者グループのほか、ひろく行政やマスコミ等へも情報提供を行ってきた。各方面からの問合せ・反響等があり、被災地の住宅復興の状況を知り得る価値あるデータであるという認識を持つことができた。

本調査は、ほぼ同じ設問のもとで実態を定点把握していくために毎年度実施してきており、このたび、第10回調査を実施するに至った。ここで得られた調査結果は、定量的な分析を行い、地域住宅生産者グループでの情報共有と、住宅復興の問題解決のための基礎資料とする。また、必要に応じて、国や地方公共団体等への情報提供を行うものとする。

## （1）調査実施主体

- ・岩手県・宮城県・福島県の地域型復興住宅推進協議会が合同で実施

## （2）調査対象

- ・地域住宅生産者グループに所属する施工事業者1社（岩手121、宮城60、福島91 計272社）
  - ⇒ グループ代表者が施工事業者の場合は、当該施工事業者
  - ⇒ グループ代表者が施工事業者以外の場合は、グループ内の主たる施工事業者1社

## （3）調査の実施方法

- ・メール配布・回収によるアンケート調査
- ・配布・回収は、各県の地域型復興住宅推進協議会が実施
  - ※ メールが困難な場合はFAXによる配布・回収

## （4）調査実施期間

- ・回答期間（調査実施）：令和2年11月中旬～令和2年12月中旬
- ・集計・分析：令和2年12月中旬～令和3年1月中旬

## (5) 調査内容

- 調査票はA4で2頁構成とし、設問内容は以下のとおりである。(調査票は巻末に添付)

<b>回答者の属性</b>	グループ名称／会社所在地／ 現在の主な業務内容(新築、修理・改修等の状況)／現在(震災後)の事業エリア
<b>受注状況</b>	主な施主(発注者)／主な建設地
<b>実施体制</b>	契約～着工までの期間／着工～完成・引渡までの期間／受注対応力／ 他の市町村・県からの大工・職人等の応援の状況／ 大工・職人等の宿泊施設の充足状況／ 人材不足の状況がみられる工事段階／不足している建材・資材等／ グループ内工務店における建材・資材の共同購入等の予定・意向／ 何ヶ月先まで新築工事契約が決まっているか／現在懸念していること
<b>コストの状況</b>	現在(震災後)の工事単価
<b>地域材の活用</b>	地域材(自県産材)活用の問題点
<b>マッチングサポート 制度の活用意向</b>	職人融通支援・資材確保支援活用の意向
<b>グループに期待 する取組み</b>	東日本大震災の復興後を見据えた地域住宅生産者グループに期待する取組み
<b>活動への要望、必 要な支援、その他</b>	復興後を見据えての問題点、課題、必要な支援等(自由回答) コロナ禍の住宅受注・建築状況等(自由回答)

## (6) 配布・回収の結果

	配布数	回収数	回収数			回収率
			沿岸市町村	内陸市町村	他・不明	
岩手県	121社	75社 (100.0%)	25社 (33.3%)	50社 (66.7%)	0社 (0.0%)	62.0%
宮城県	60社	36社 (100.0%)	28社 (77.8%)	8社 (22.2%)	0社 (0.0%)	60.0%
福島県	91社	23社 (100.0%)	11社 (47.8%)	12社 (52.2%)	0社 (0.0%)	25.3%
計	272社	134社 (100.0%)	64社 (47.8%)	70社 (52.2%)	0社 (0.0%)	49.3%

※ 宮城県については全78グループのうち活動休止状態グループ等を除いて配布した

※ 沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答(仙台市は沿岸市町村としている)。

内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答。

## (7) 集計方針

- グループ名称、所在地、自由記入欄を除く、全ての調査項目について単純集計及び県別集計を行うほか、回答者の所在市町村の属性別(沿岸市町村・内陸市町村)集計を行う。
- 「契約～着工までの期間」、「着工～完成・引渡までの期間」、「何ヶ月先まで新築工事契約が決まっているか」、「工事単価」については、それぞれレンジで表示するとともに、平均値を算出。

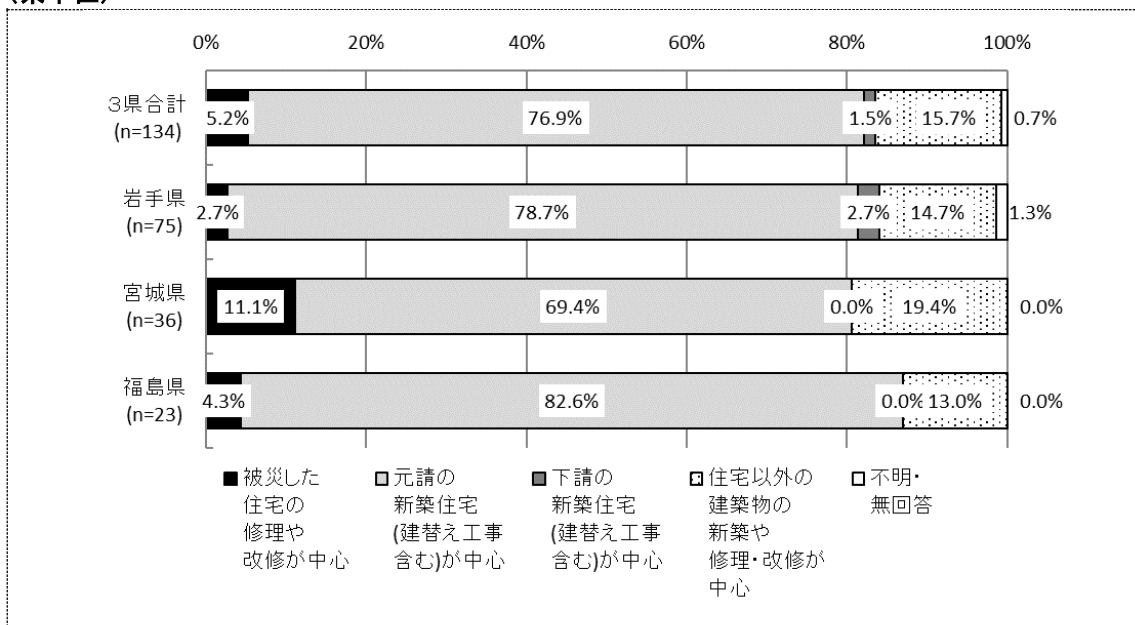
## 2. 集計結果

### (1) 回答者の属性

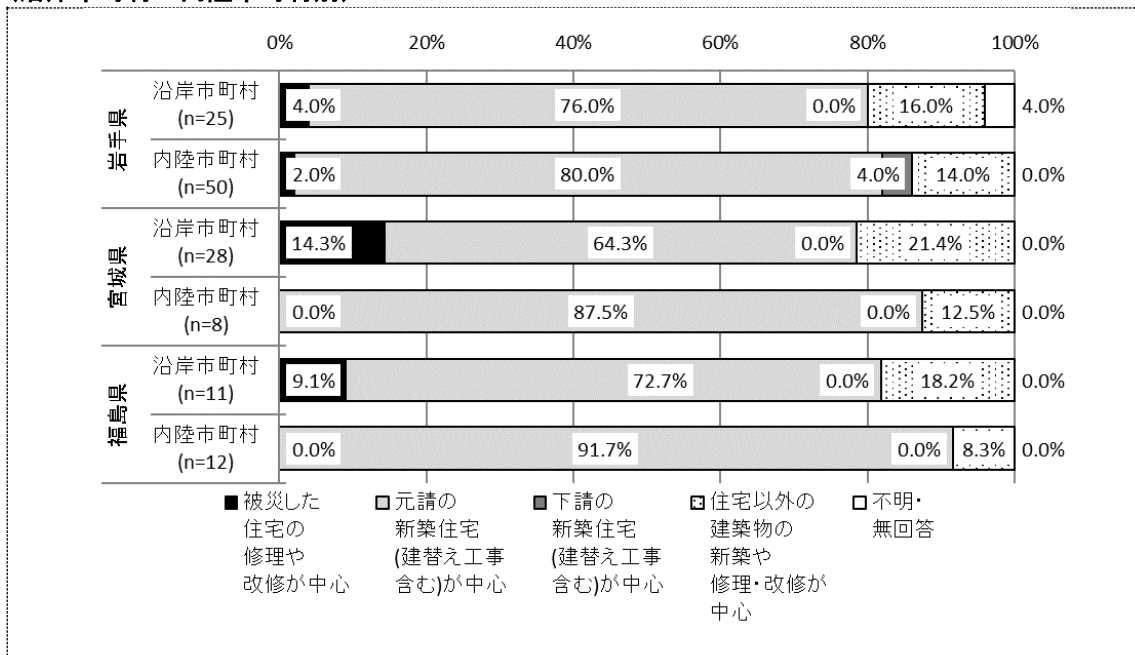
#### 1) 現在の主な業務内容

- ・ 3県合計で 76.9%の施工事業者が「元請・新築」を主な業務としている。  
 〈参考〉 第9回調査では上記回答が3県平均で 73.3%であり、今回「元請・新築」を主な業務としている施工業者の割合が 3.6ポイント上昇。
- ・ 他地域に比較して、宮城県沿岸市町村での「被災した住宅の修理や改修が中心」のポイントが高い。

#### (県単位)



#### (沿岸市町村・内陸市町村別)



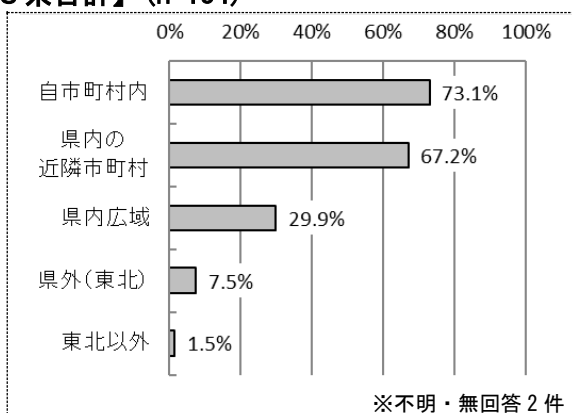
沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）

内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

## 2) 現在（震災後）の事業エリア（複数回答）

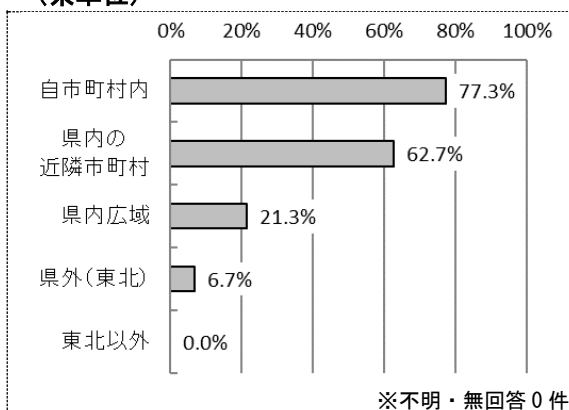
- 3県合計では「自市町村内」が73.1%、次いで「県内の近隣市町村」が67.2%。  
 〈参考〉 第9回調査では「県内の近隣市町村」が74.8%、「自市町村内」が71%、「県内広域」が25.2%。
- 岩手県では、「自市町村内」が最も多く、次いで「県内の近隣市町村」となっている。
- 宮城県では、「県内の近隣市町村」が最も多く、次いで「自市町村内」となっており、他県に比べて「県内広域」が多いのが特徴である。
- 福島県では、「県内の近隣市町村」、「自市町村内」が多いが、他県に比べて県外（東北）と「東北以外」の割合が高いことが特徴である。

### 【3県合計】(n=134)

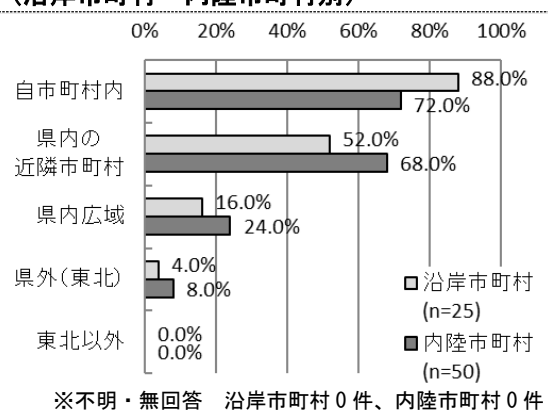


### 【岩手県】(n=75)

(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)

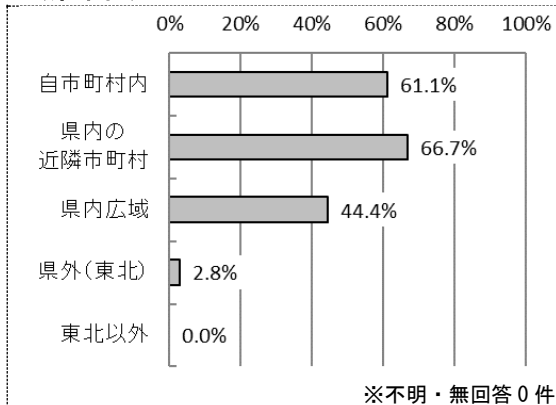


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

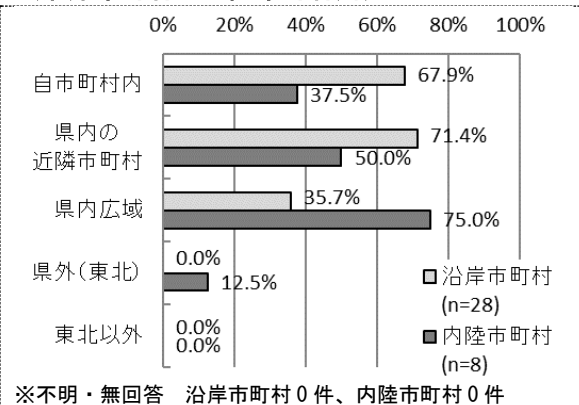


**【宮城県】 (n=36)**

(県単位)

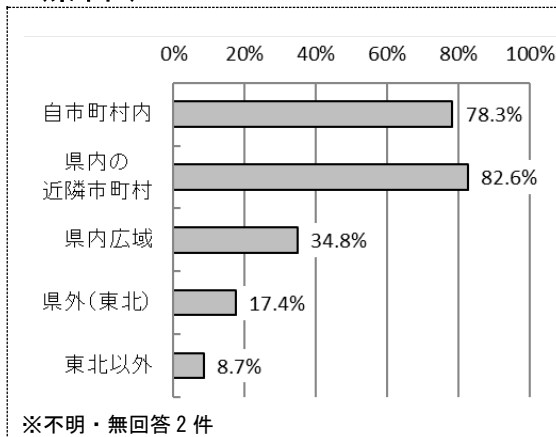


(沿岸市町村・内陸市町村別)

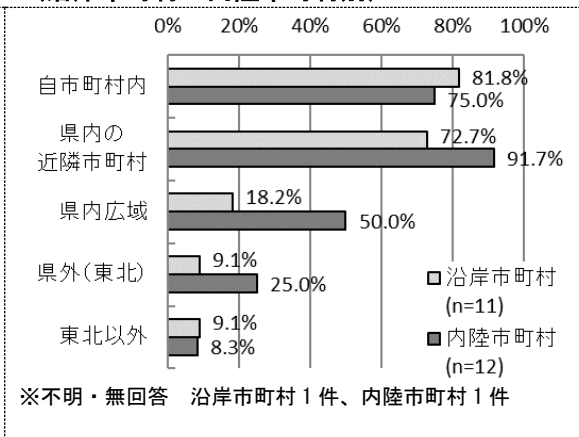


**【福島県】 (n=23)**

(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



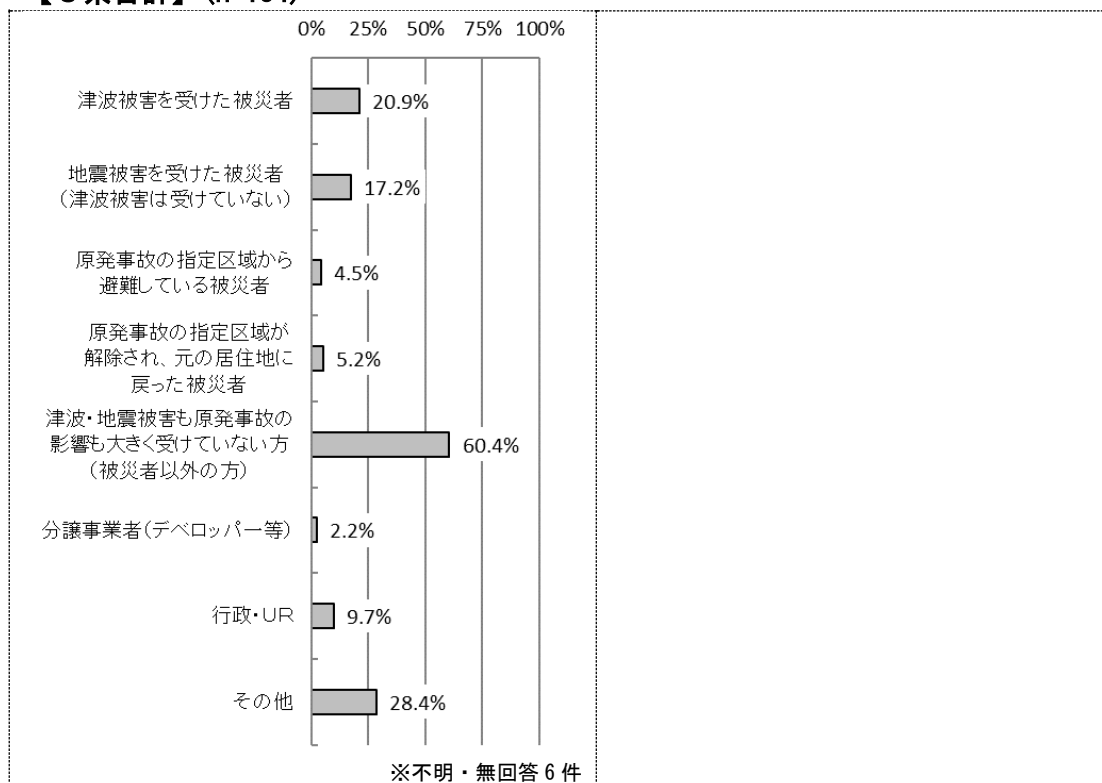
沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

## (2) 受注の状況（元請けの木造住宅新築工事（建替え含む））

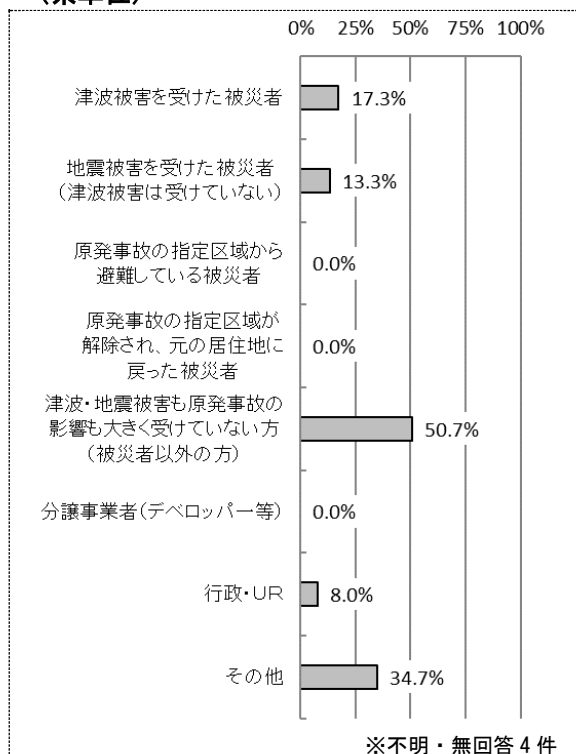
### 1) 現在の主な施主（発注者）（複数回答）

- 3県合計では「津波・地震被害も原発事故の影響も大きく受けていない方（被災者以外の方）」が60.4%と最も高い。特に、福島県ではこの傾向が顕著である。
- 宮城県では、他県に比べて「津波被害を受けた被災者」「地震被害を受けた被災者」が多いことがわかる。
- 岩手県の沿岸市町村では「津波被害を受けた被災者」の割合が28.0%、宮城県の沿岸市町村では39.3%、福島県の沿岸市町村では18.2%となっている。
- 福島県の沿岸市町村では「原発事故の指定区域が解除され、元の居住地に戻った被災者」の割合が45.5%となっており、指定区域の解除に伴う住宅復興が進んでいることが伺える。

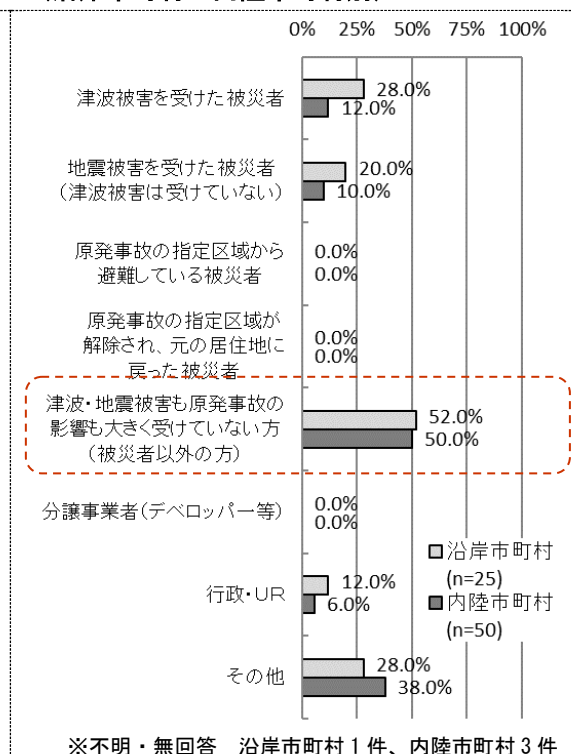
#### 【3県合計】（n=134）



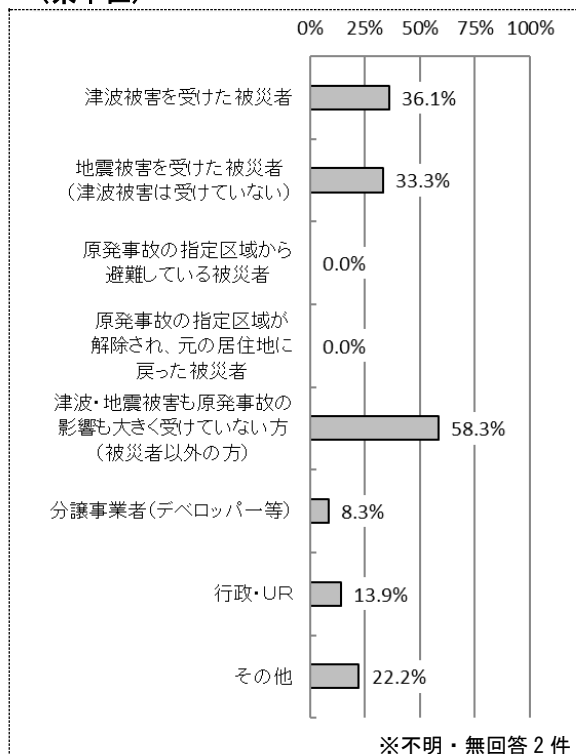
【岩手県】(n=75)  
(県単位)



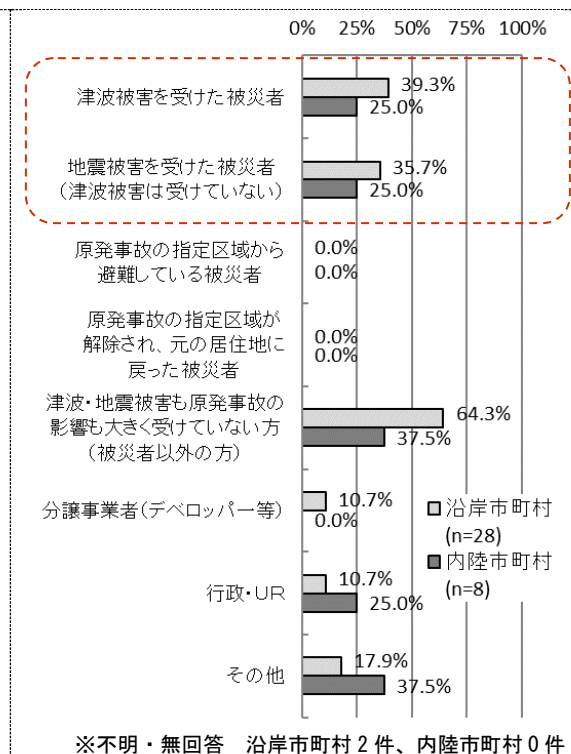
(沿岸市町村・内陸市町村別)



【宮城県】(n=36)  
(県単位)

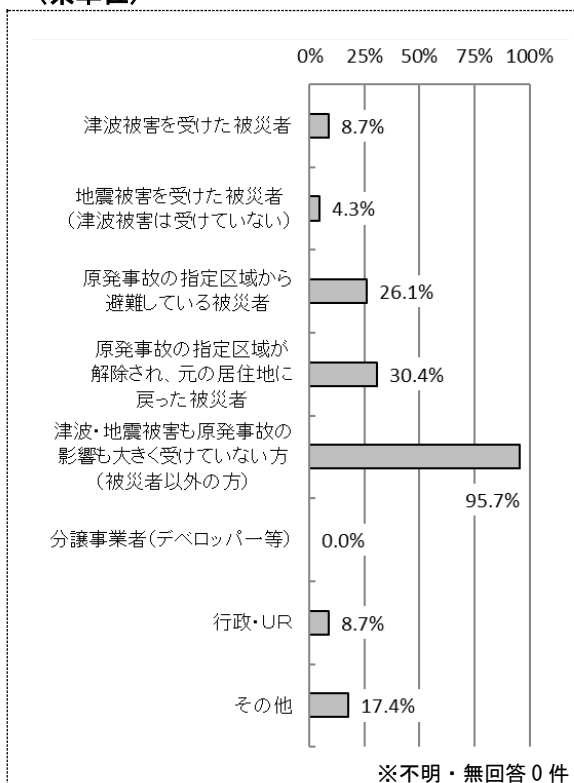


(沿岸市町村・内陸市町村別)

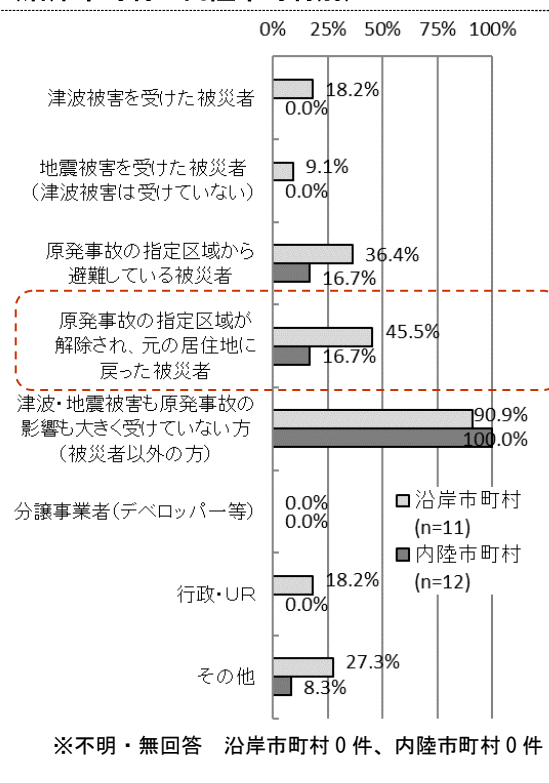


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

【福島県】(n=23)  
(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)

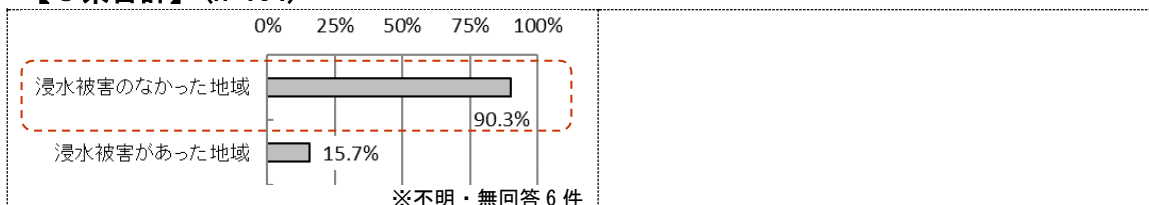


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

## 2) 現在の主な建設地（複数回答）

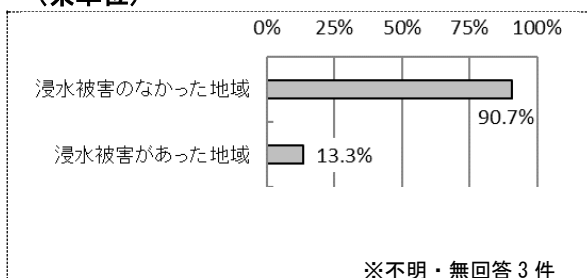
- ・ 3県とも「浸水被害のなかった地域」での建設が中心。「浸水被害があった地域」で建設を行っている施工事業者は15.7%に留まっている。
- ・ 宮城県では、他県に比べて「浸水被害があった地域」でのポイントが高い。

### 【3県合計】 (n=134)

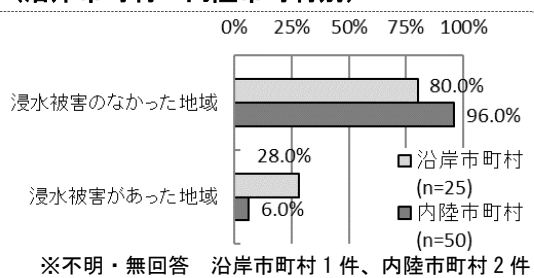


### 【岩手県】 (n=75)

(県単位)

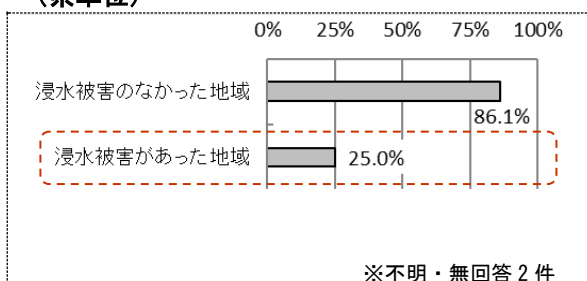


(沿岸市町村・内陸市町村別)

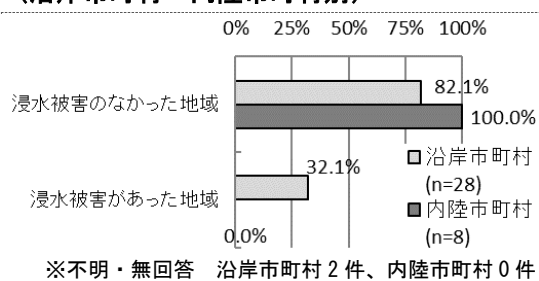


### 【宮城県】 (n=36)

(県単位)

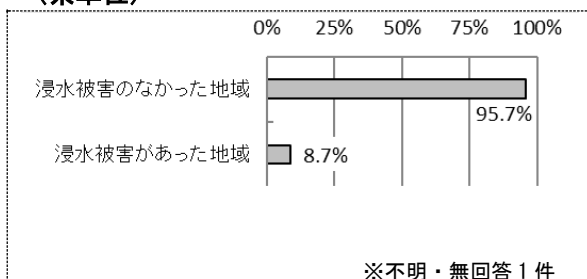


(沿岸市町村・内陸市町村別)

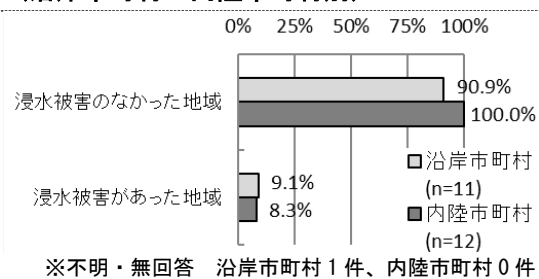


### 【福島県】 (n=23)

(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



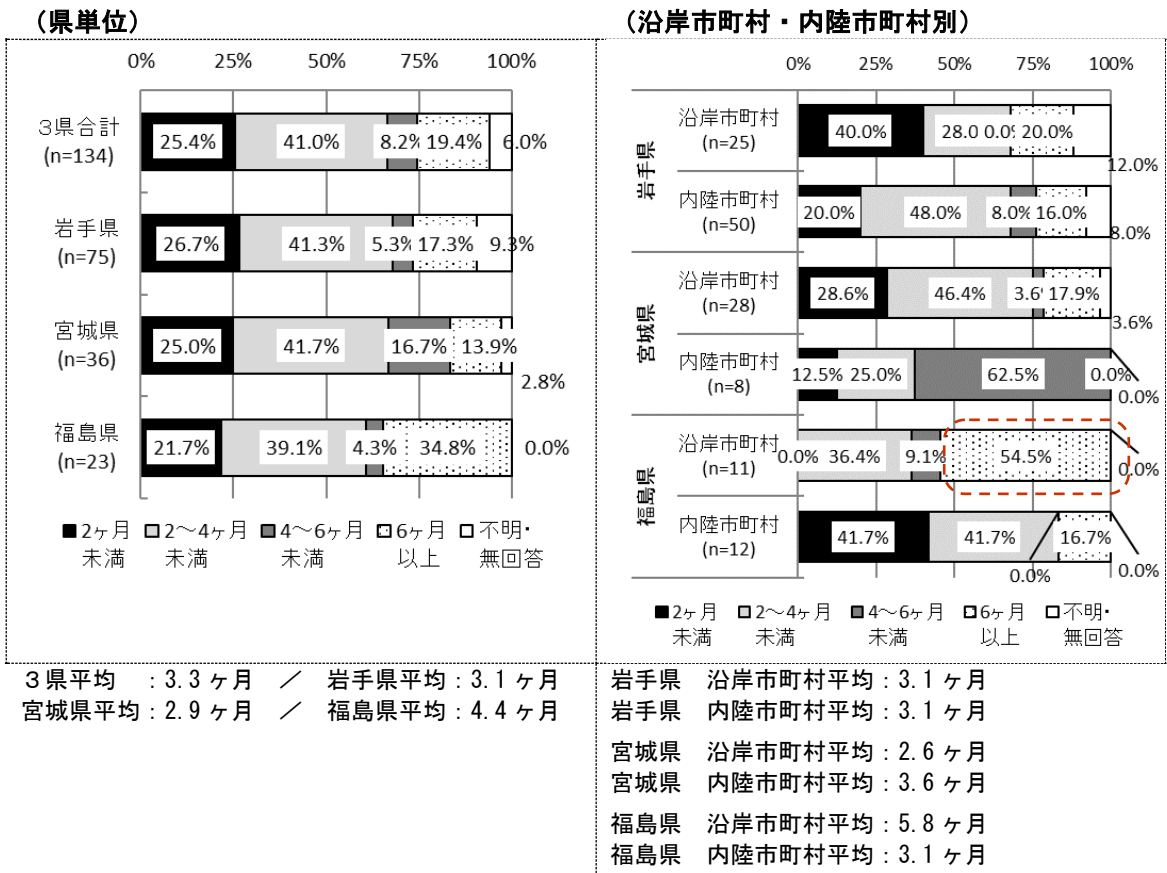
沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

(3) 実施体制（元請の木造住宅新築工事(建替え含む)）

1) 現在（震災後）の契約～着工までの期間及び着工～完成・引渡までの期間

①契約～着工までの期間

- ・ 3県平均で 3.3 ヶ月、岩手県 3.1 ヶ月、宮城県 2.9 ヶ月、福島県 4.4 ヶ月である。  
 <参考> 第9回調査では上記回答が3県平均で 3.9 ヶ月、岩手県 3.7 ヶ月、宮城県 3.8 ヶ月、福島県 4.5 ヶ月。今回、3県いずれも短縮傾向。
- ・ 福島県の沿岸市町村は、内陸市町村より平均期間が長く、前回よりは短縮傾向にあるものの「6ヶ月以上」が 54.5%を占め、平均 5.8 ヶ月となっている。



<参考：第9回調査>

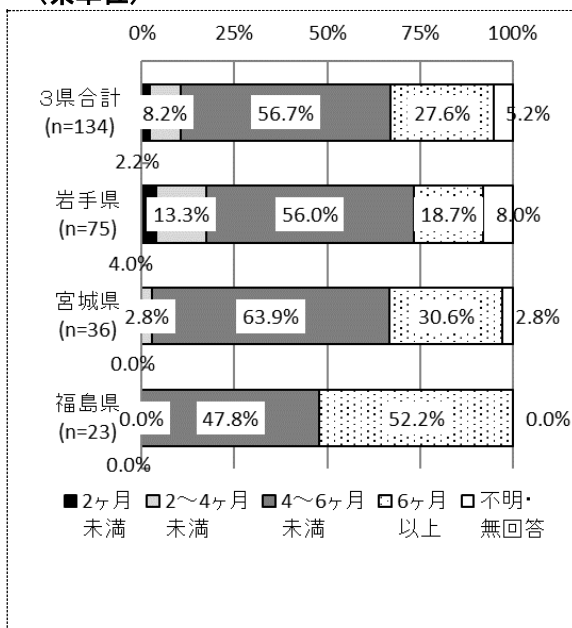
3県平均 : 3.9 ヶ月	／	岩手県平均 : 3.7 ヶ月	岩手県 沿岸市町村平均 : 3.3 ヶ月
宮城県平均 : 3.8 ヶ月	／	福島県平均 : 4.5 ヶ月	岩手県 内陸市町村平均 : 3.9 ヶ月
			宮城県 沿岸市町村平均 : 4.2 ヶ月
			宮城県 内陸市町村平均 : 2.3 ヶ月
			福島県 沿岸市町村平均 : 6.5 ヶ月
			福島県 内陸市町村平均 : 3.6 ヶ月

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

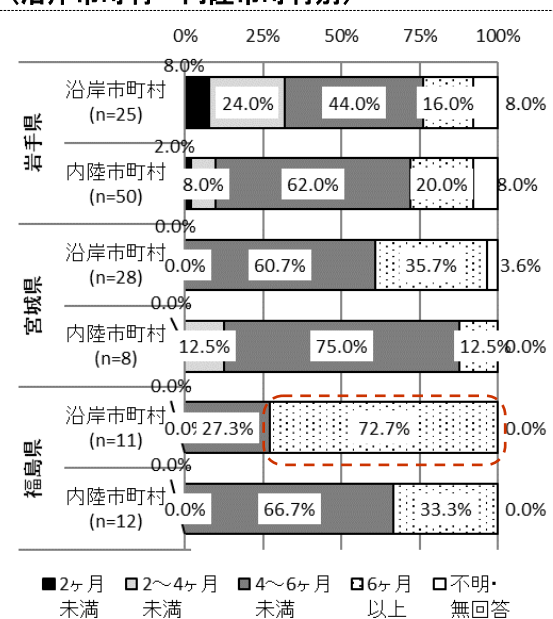
## ②着工～完成・引渡までの期間

- 3県平均で4.8ヶ月、岩手県4.4ヶ月、宮城県5.0ヶ月、福島県5.8ヶ月である。  
 〈参考〉 第9回調査では上記回答が3県平均で4.9ヶ月、岩手県4.4ヶ月、宮城県6.0ヶ月、福島県5.5ヶ月。岩手県、宮城県では短縮傾向、福島県では沿岸市町村での長期化傾向がみられる。
- 岩手県では内陸市町村より沿岸市町村の平均期間が長い、宮城県、福島県では沿岸市町村での平均期間が長くなっている。

(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



3県平均 : 4.8ヶ月 / 岩手県平均 : 4.4ヶ月  
 宮城県平均 : 5.0ヶ月 / 福島県平均 : 5.8ヶ月

岩手県 沿岸市町村平均 : 3.9ヶ月  
 岩手県 内陸市町村平均 : 4.6ヶ月  
 宮城県 沿岸市町村平均 : 5.1ヶ月  
 宮城県 内陸市町村平均 : 4.6ヶ月  
 福島県 沿岸市町村平均 : 6.5ヶ月  
 福島県 内陸市町村平均 : 5.1ヶ月

### <参考：第9回調査>

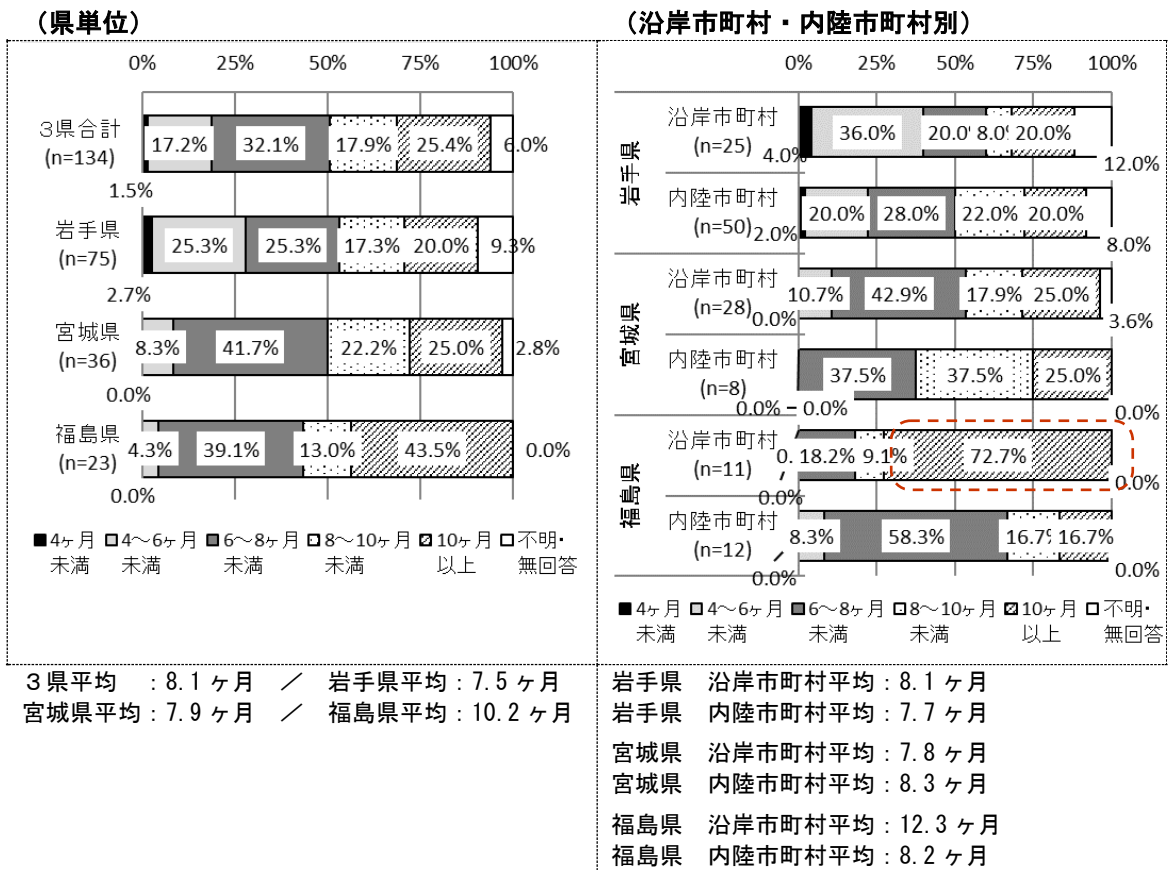
3県平均 : 4.9ヶ月 / 岩手県平均 : 4.4ヶ月  
 宮城県平均 : 6.0ヶ月 / 福島県平均 : 5.5ヶ月

岩手県 沿岸市町村平均 : 4.5ヶ月  
 岩手県 内陸市町村平均 : 4.4ヶ月  
 宮城県 沿岸市町村平均 : 6.3ヶ月  
 宮城県 内陸市町村平均 : 4.8ヶ月  
 福島県 沿岸市町村平均 : 5.6ヶ月  
 福島県 内陸市町村平均 : 5.4ヶ月

沿岸市町村 : 沿岸部に位置する市町村の工務店が回答 (仙台市は沿岸市町村としている)  
 内陸市町村 : 内陸部に位置する市町村の工務店が回答

### ③契約～着工までの期間と着工～完成・引渡までの期間の合計

- 3県平均で 8.1 ヶ月、岩手県 7.5 ヶ月、宮城県 7.9 ヶ月、福島県 10.2 ヶ月であり、全体的に短縮傾向にある。
- 震災前の 3 県平均 6.1 ヶ月に比べると約 2 ヶ月の大幅増となっている。  
 〈参考〉 第9回調査では上記回答が 3 県平均で 8.8 ヶ月、岩手県 8.2 ヶ月、宮城県 9.8 ヶ月、福島県 10.1 ヶ月。岩手県、宮城県では短縮、福島県はほとんど変わらず。
- 岩手県・福島県の沿岸市町村は、内陸市町村より平均期間が長く、とくに福島県の沿岸市町村では、「10 ヶ月以上」が 72.7% を占める。



### <参考：第9回調査>

3 県平均 : 8.8 ヶ月	／	岩手県平均 : 8.2 ヶ月	岩手県 沿岸市町村平均 : 8.0 ヶ月
宮城県平均 : 9.8 ヶ月	／	福島県平均 : 10.1 ヶ月	岩手県 内陸市町村平均 : 8.3 ヶ月
			宮城県 沿岸市町村平均 : 10.4 ヶ月
			宮城県 内陸市町村平均 : 7.0 ヶ月
			福島県 沿岸市町村平均 : 12.1 ヶ月
			福島県 内陸市町村平均 : 9.1 ヶ月

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

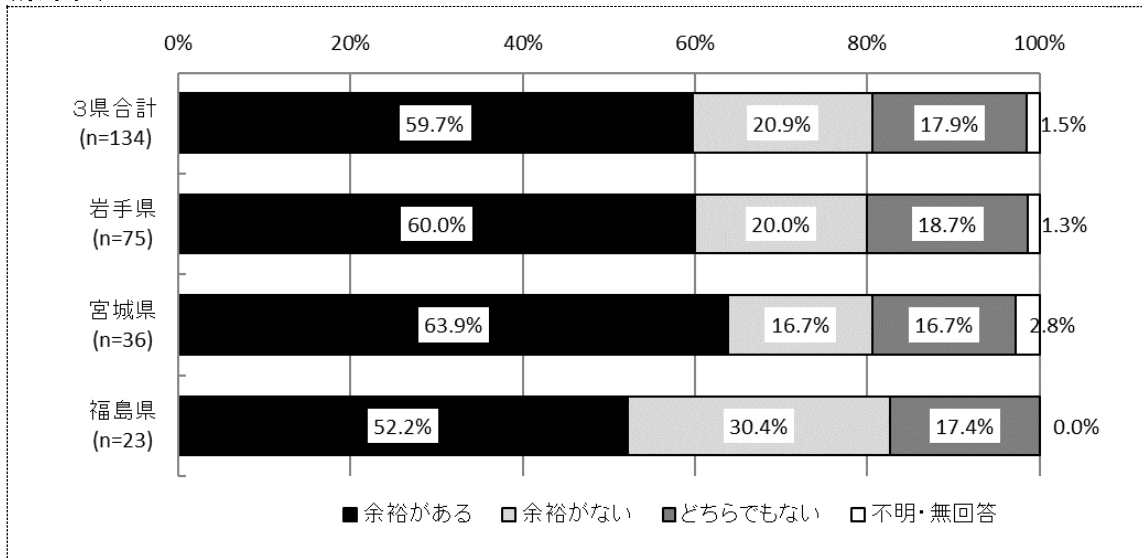


## 2) 受注対応力（余裕の有無）

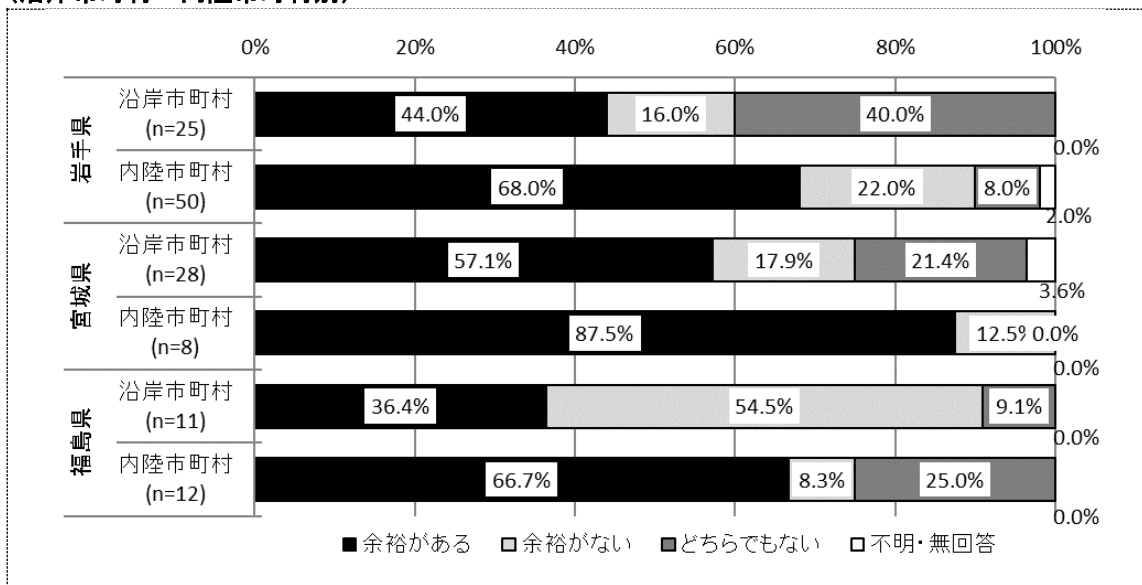
- 受注対応力に関する全般的な傾向として、3県合計で受注対応力に「余裕がある」が59.7%であり、宮城県、岩手県では6割を超えている。
- 一方で、3県合計で受注対応力に「余裕がない」は2割あり、福島県では3割を超えている。

〈参考〉 第9回調査では「余裕がある」の割合は3県合計で42.7%（今回17ポイント上昇）、  
「余裕がない」の割合は3県合計で32.8%であった。

### （県単位）



### （沿岸市町村・内陸市町村別）

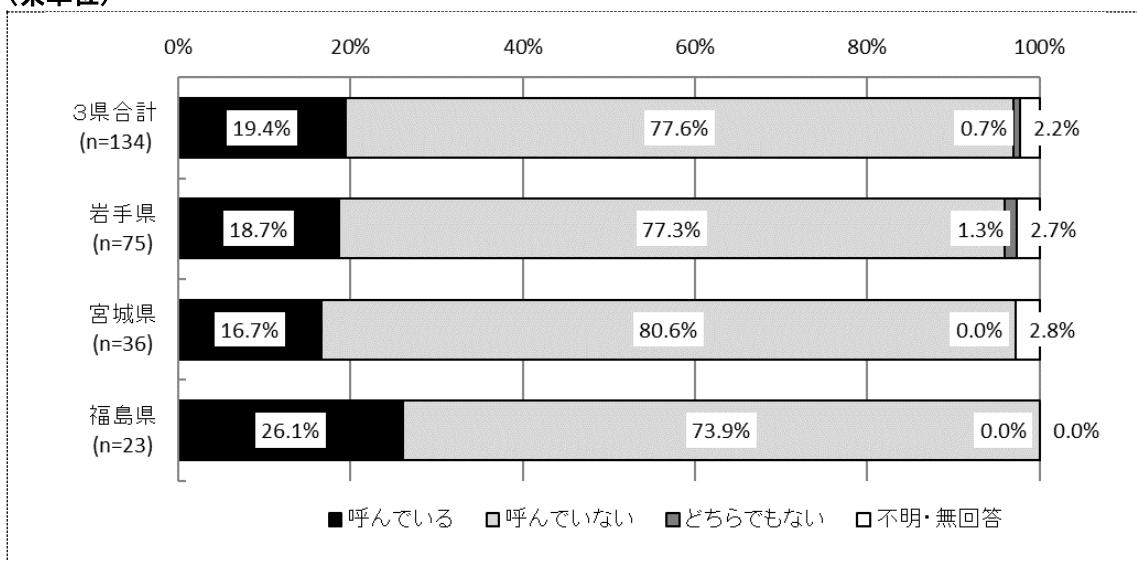


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

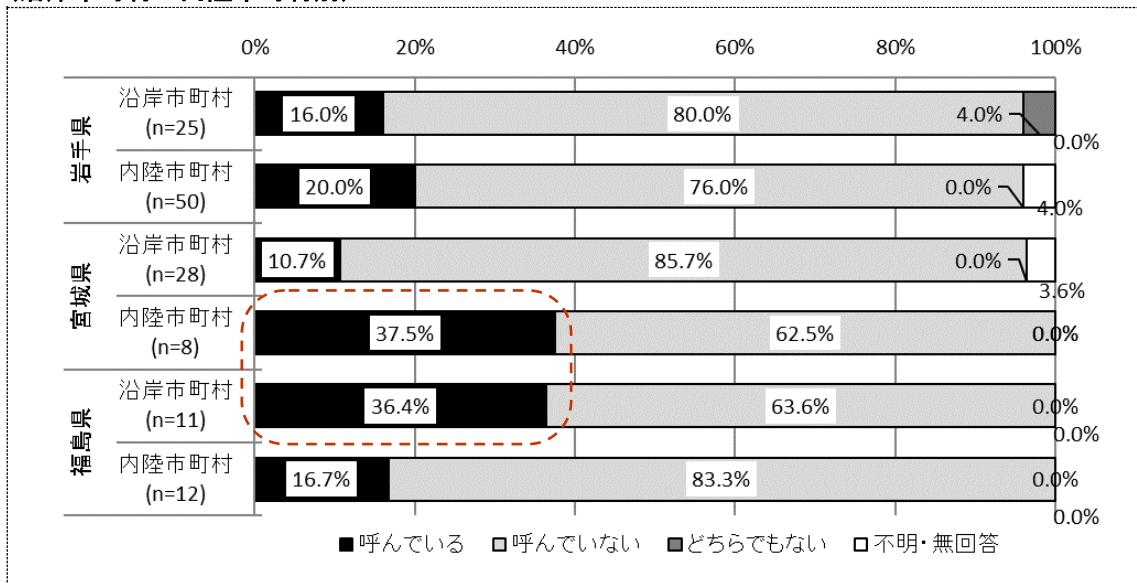
### 3) 他の市町村・県から、大工・職人等の応援は呼んでいるか

- 3県合計で「応援を呼んでいる」施工事業者は 19.4%。8 割弱は応援を呼んでいない状況である。
- 〈参考〉 第9回調査では「応援を呼んでいる」施工事業者は3県合計で 29.8%。今回 10.4ポイント減少。県別にみると、岩手県 29.4%、宮城県 25.0%、福島県 34.6%であったことから、各県ともに減少傾向にある。
- 宮城県内陸市町村、福島県沿岸市町村では「応援を呼んでいる」が3割を超えている。
- 〈参考〉 第9回調査では「応援を呼んでいる」割合が、岩手県の沿岸市町村で 13.3%、内陸市町村で 38.2%、宮城県の沿岸市町村で 18.8%、内陸市町村で 50%、福島県の沿岸市町村で 62.5%、内陸市町村で 22.2%であった。

#### (県単位)



#### (沿岸市町村・内陸市町村別)

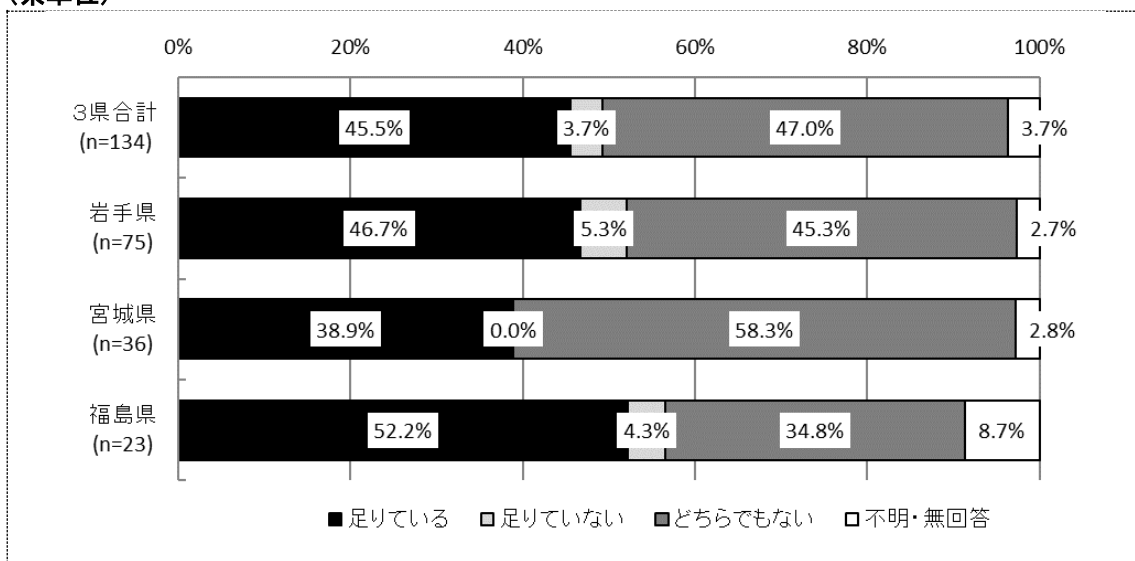


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

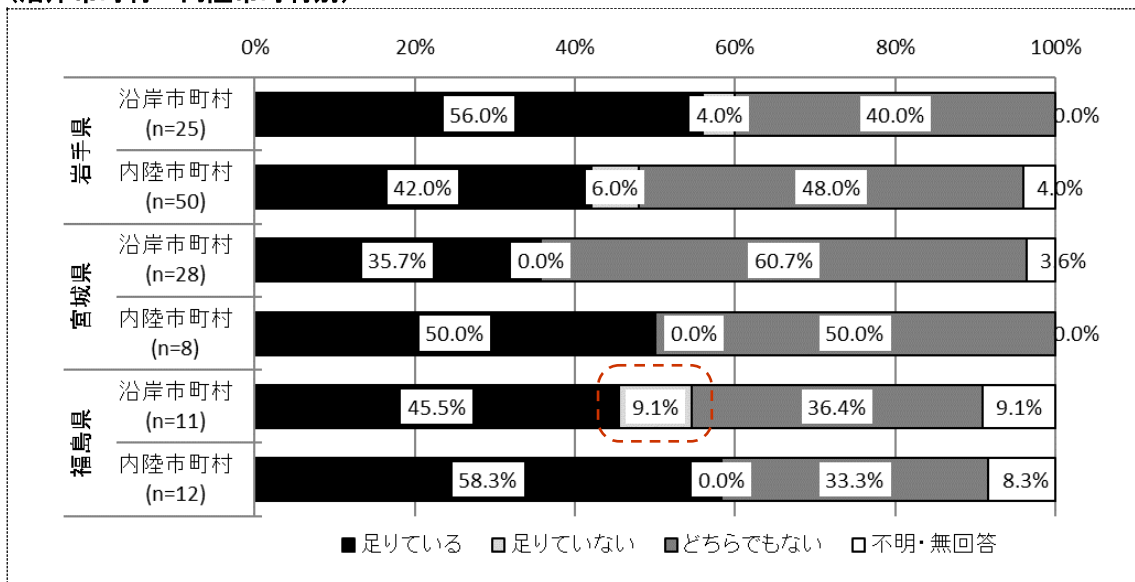
#### 4) 大工・職人等の宿泊施設は足りているか（宿泊施設の余裕の有無）

- 3県合計で「足りている」が45.5%、「足りていない」が3.7%、「どちらでもない」が47.0%が47.0%。
  - 岩手県、福島県沿岸市町村にて、「足りていない」の回答がみられる。
- 〈参考〉 第9回調査では「足りている」という回答が、3県合計で44.3%（今回1.2ポイント上昇）。県別にみると、岩手県36.5%、宮城県55.0%、福島県61.5%であった。

##### （県単位）



##### （沿岸市町村・内陸市町村別）

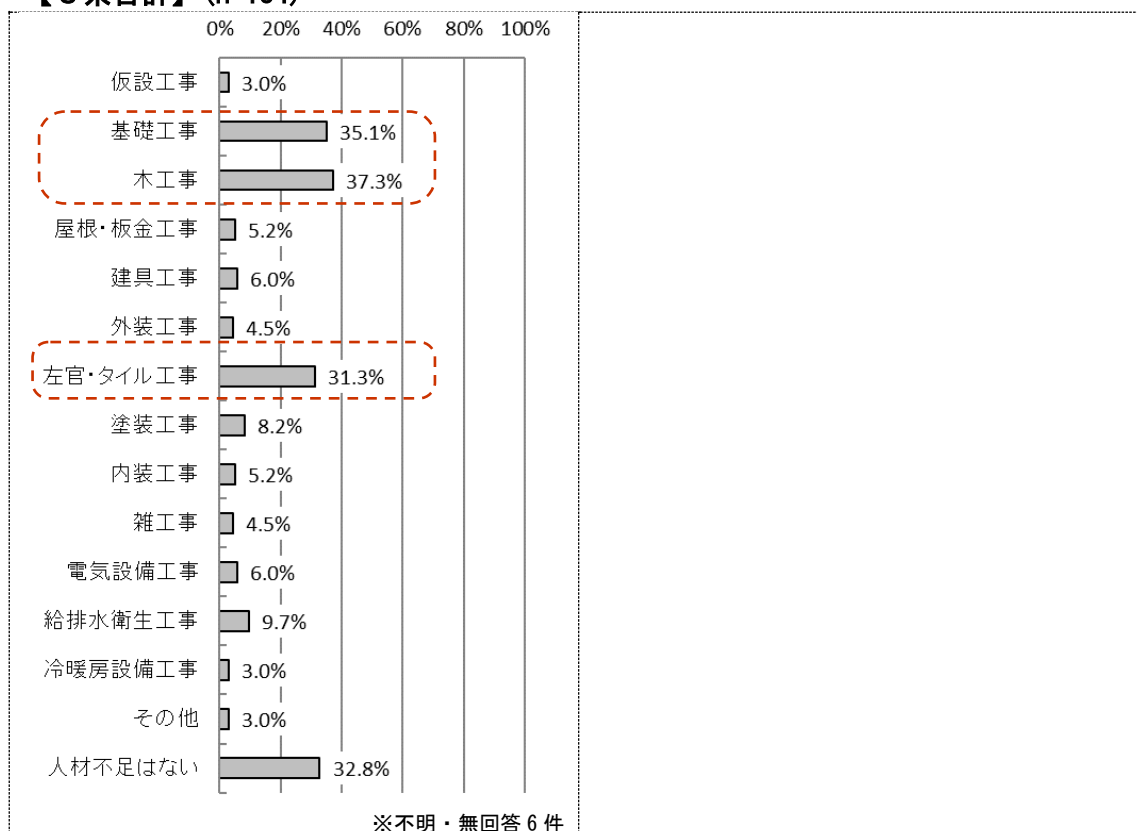


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

## 5) 人材不足が発生している工事段階（複数回答）

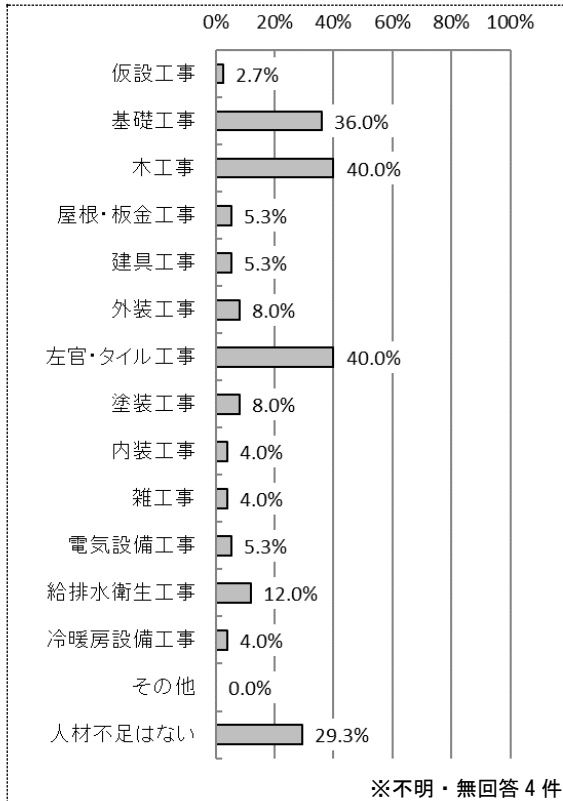
- 3県合計で「人材不足はない」が32.8%となっているが、何らかの工事にて少なからず人材不足が生じている状況が伺える。
  - 特に、「木工事」「基礎工事」「左官・タイル工事」にて30%以上となっており、前回調査でもこれら工事でのポイントが高かった。
- 〈参考〉 第9回調査では「人材不足はない」が3県合計で22.1%。今回10.7ポイント上昇。徐々に解消されつつあるが、「木工事」「基礎工事」「左官・タイル工事」を中心に人材不足はまだ続いている傾向がみられる。

### 【3県合計】(n=134)

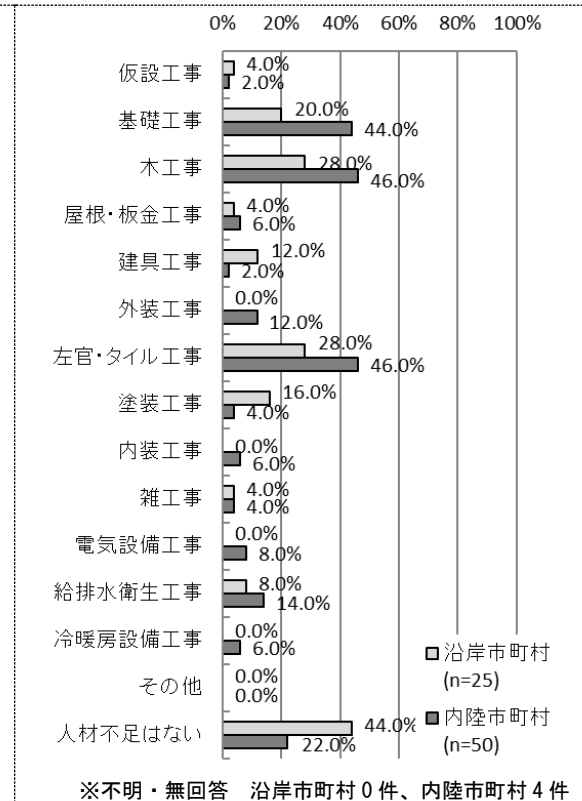


※いずれかの工事段階で「人材不足あり」と回答し、かつ、「人材不足はない」にも回答している場合は、「人材不足あり」を優先した。（「人材不足はない」は無効と判断）

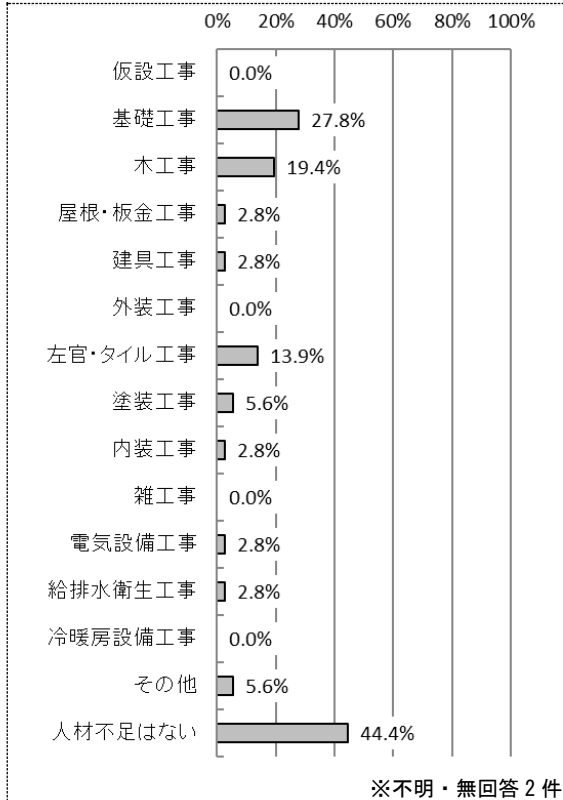
**【岩手県】 (n=75)**  
(県単位)



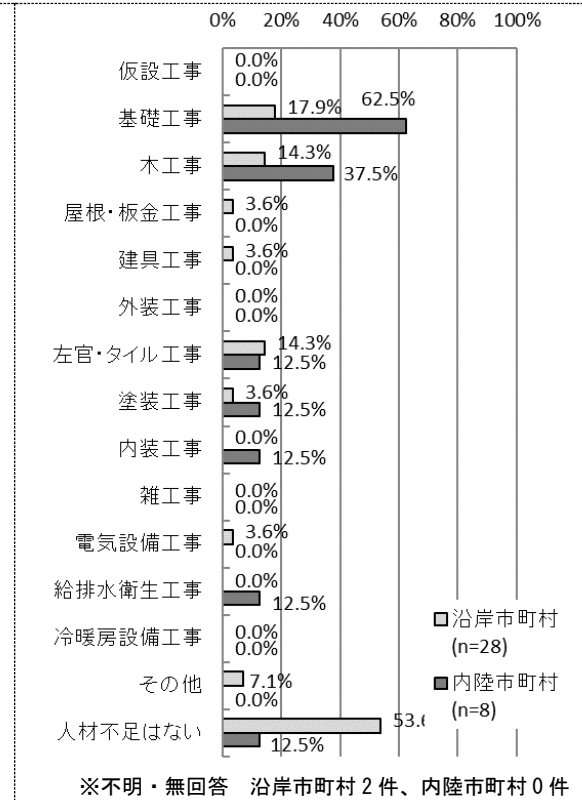
(沿岸市町村・内陸市町村別)



**【宮城県】 (n=36)**  
(県単位)



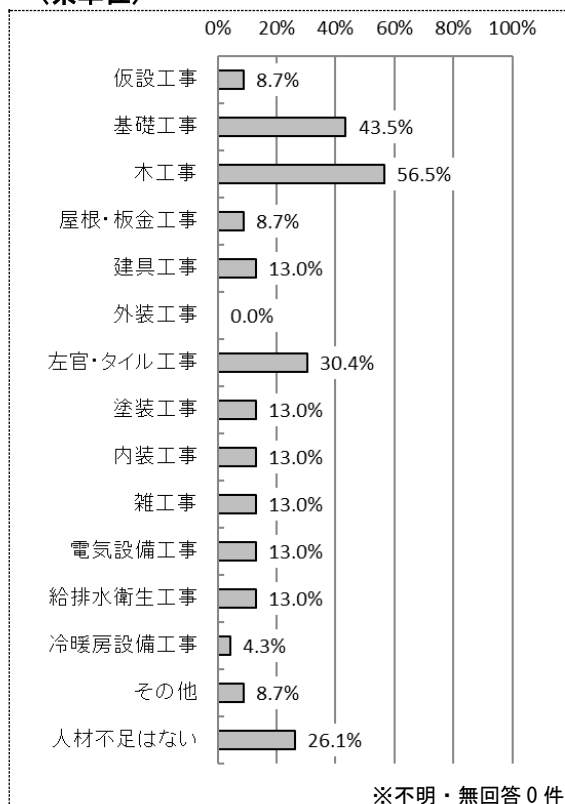
(沿岸市町村・内陸市町村別)



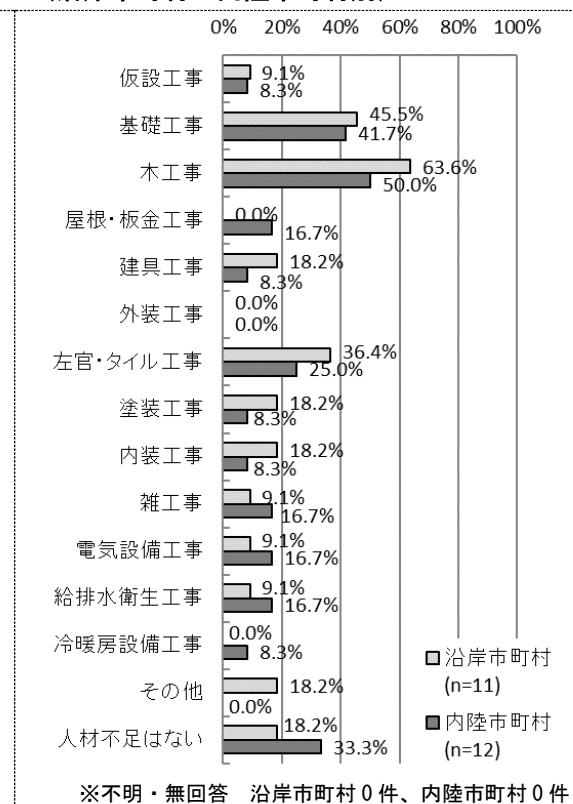
※いずれかの工事段階で「人材不足あり」と回答し、かつ、「人材不足はない」にも回答している場合は、「人材不足あり」を優先した。(「人材不足はない」は無効と判断)

**沿岸市町村**：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答 (仙台市は沿岸市町村としている)  
**内陸市町村**：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

【福島県】(n=23)  
(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



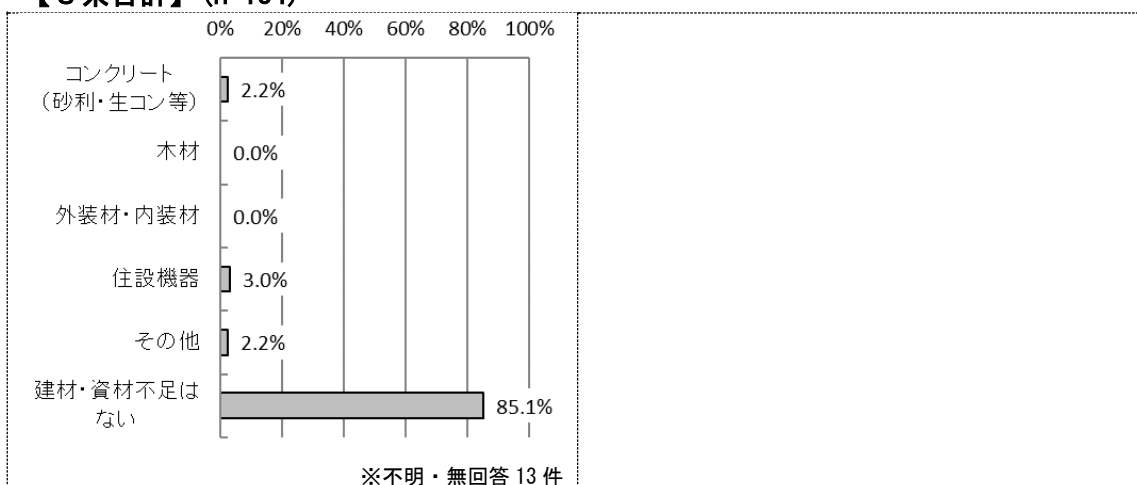
※いずれかの工事段階で「人材不足あり」と回答し、かつ、「人材不足はない」にも回答している場合は、「人材不足あり」を優先した。（「人材不足はない」は無効と判断）

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

## 6) 不足している建材・資材等（複数回答）

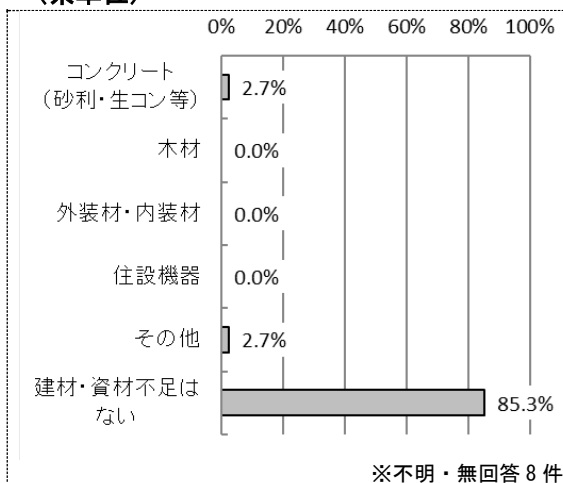
- 3県合計で「建材・資材不足はない」が85.1%。  
 〈参考〉 第9回調査では「建材・資材不足はない」は3県合計で74.0%。今回10.1ポイント上昇。
- 各県ともに沿岸市町村にて「コンクリート（砂利・生コン等）」、「住設機器」にて不足している回答がみられる。

### 【3県合計】 (n=134)

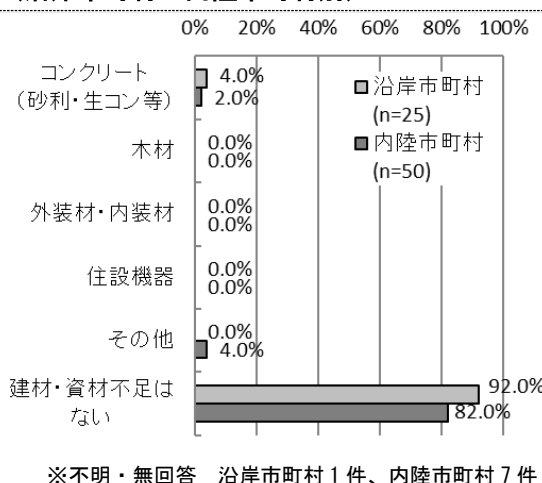


### 【岩手県】 (n=75)

【県単位】



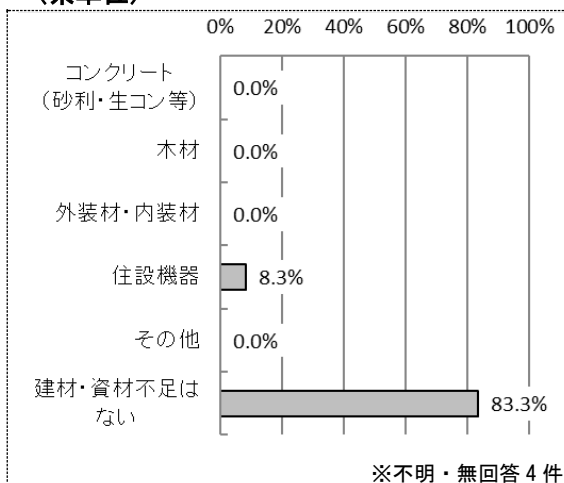
【沿岸市町村・内陸市町村別】



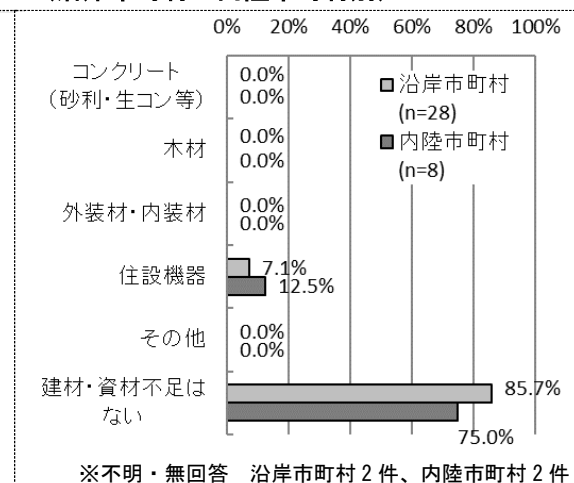
※いずれかの建材・資材種別で「不足」と回答し、かつ、「建材・資材不足はない」にも回答している場合は、「不足」を優先した。（「建材・資材不足はない」は無効と判断）

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

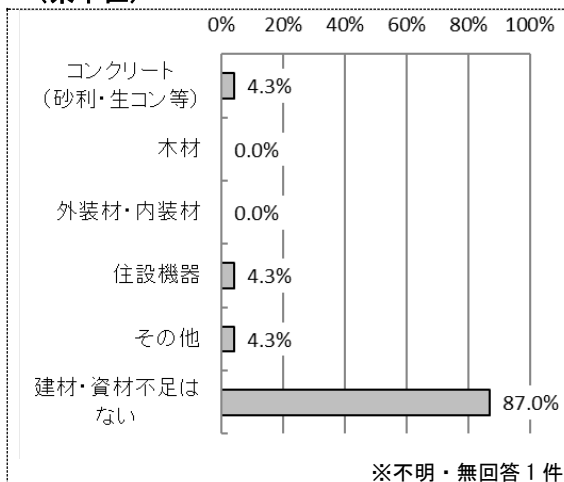
**【宮城県】 (n=36)**  
(県単位)



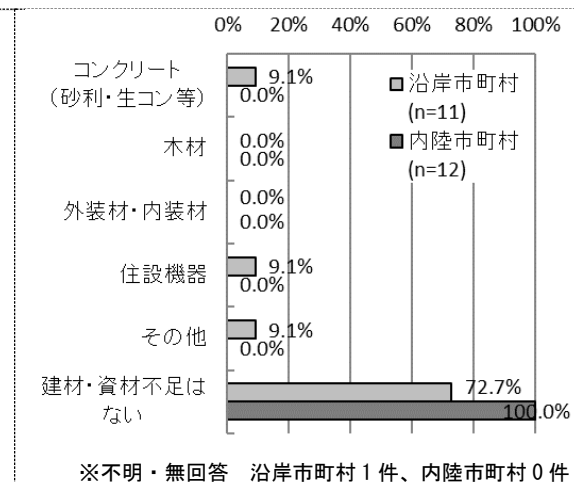
(沿岸市町村・内陸市町村別)



**【福島県】 (n=23)**  
(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



※いずれかの建材・資材種別で「不足」と回答し、かつ、「建材・資材不足はない」にも回答している場合は、「不足」を優先した。「建材・資材不足はない」は無効と判断

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

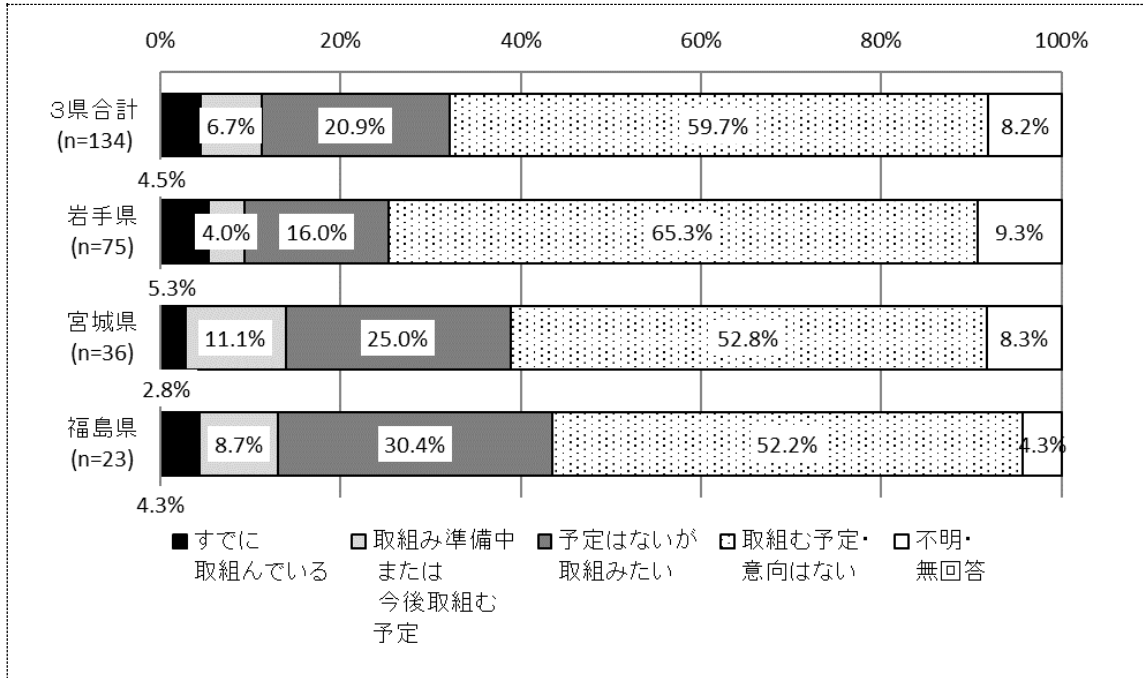


## 7) グループ内の工務店等での建材・資材の共同購入・仕入れ等の予定・意向

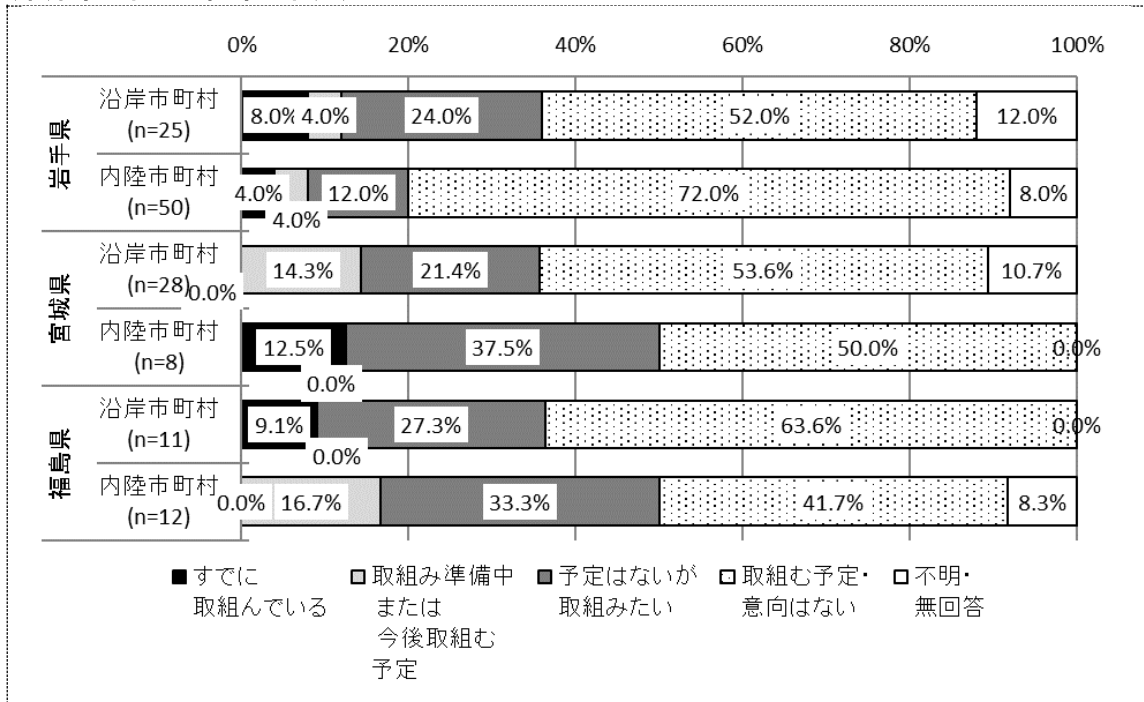
・3県合計で「すでに取組んでいる」、「取組み準備中・予定」あわせて11.2%。これに「予定はないが取組みたい」を合わせると32.1%となっている。

〈参考〉第9回調査では「すでに取組んでいる」、「取組み準備中・予定」あわせて3県合計は9.2%。今回2ポイント増加。

### (県単位)



### (沿岸市町村・内陸市町村別)

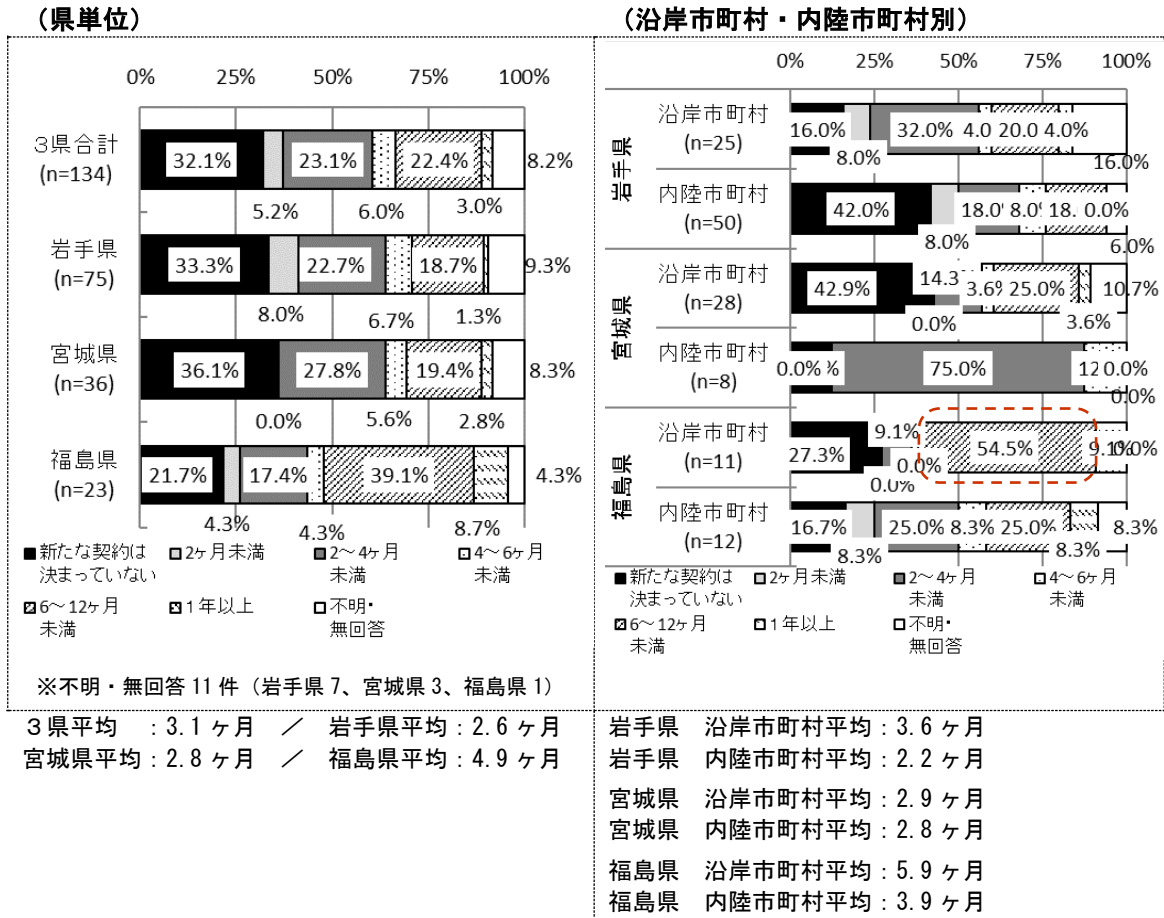


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）

内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

8) 現在、何ヶ月先までの新築工事契約が決まっているか

- 3県平均で3.1ヶ月先までの新築工事の契約が決まっている状況。県別にみると、岩手県2.6ヶ月、宮城県2.8ヶ月、福島県4.9ヶ月であった。
- 〈参考〉第9回調査では上記回答が3県平均で3.4ヶ月、岩手県3.2ヶ月、宮城県2.9ヶ月、福島県4.7ヶ月であり、3県ともにほぼ変化なし。
- 沿岸市町村は、内陸市町村より新築工事契約が決まっている期間が長い。とくに福島県の沿岸市町村では、「6～12ヶ月未満」が54.5%を占め、平均5.9ヶ月。



〈参考：第9回調査〉

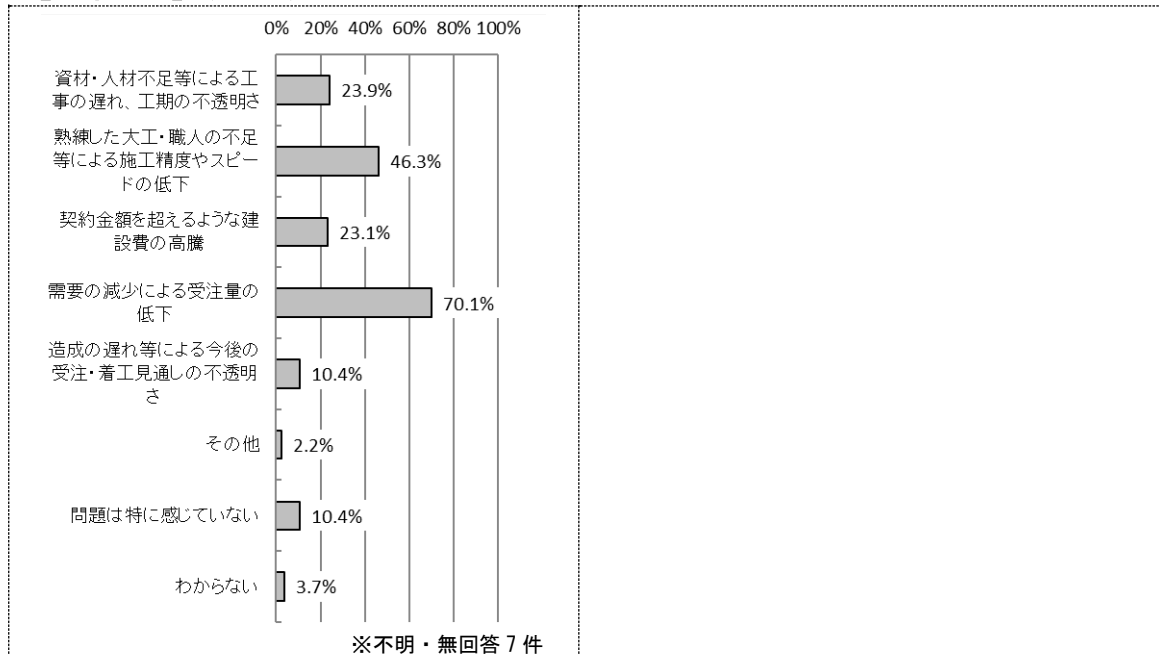
3県平均 : 3.4ヶ月	岩手県平均 : 3.2ヶ月	岩手県 沿岸市町村平均 : 3.3ヶ月
宮城県平均 : 2.9ヶ月	福島県平均 : 4.7ヶ月	岩手県 内陸市町村平均 : 3.2ヶ月
		宮城県 沿岸市町村平均 : 3.1ヶ月
		宮城県 内陸市町村平均 : 2.5ヶ月
		福島県 沿岸市町村平均 : 7.1ヶ月
		福島県 内陸市町村平均 : 3.6ヶ月

沿岸市町村 : 沿岸部に位置する市町村の工務店が回答 (仙台市は沿岸市町村としている)  
 内陸市町村 : 内陸部に位置する市町村の工務店が回答

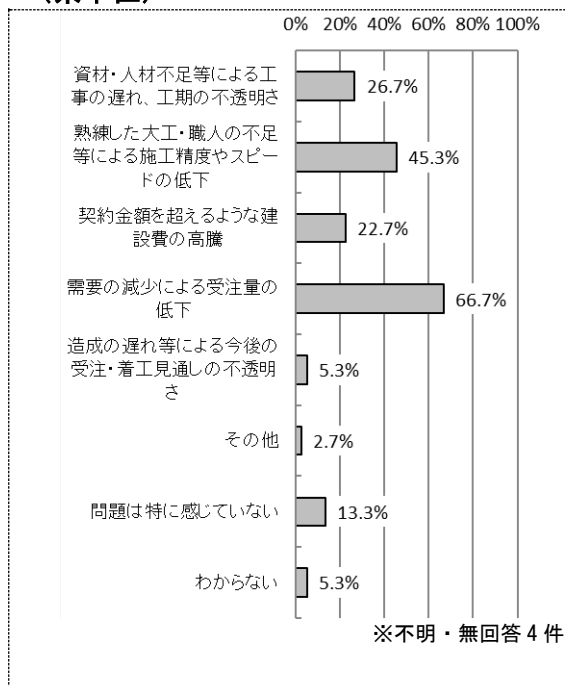
## 9) 現在、懸念していること（複数回答）

- ・ 3県共通して「受注量の低下」「施工精度やスピードの低下」が高く、「工事の遅れ・工期の不透明さ」「建設費の高騰」があがっている。
- ・ なかでも「受注量の低下」への懸念の高さがみられ、復興需要の減少を見据えた受注のあり方などが課題ともいえる。

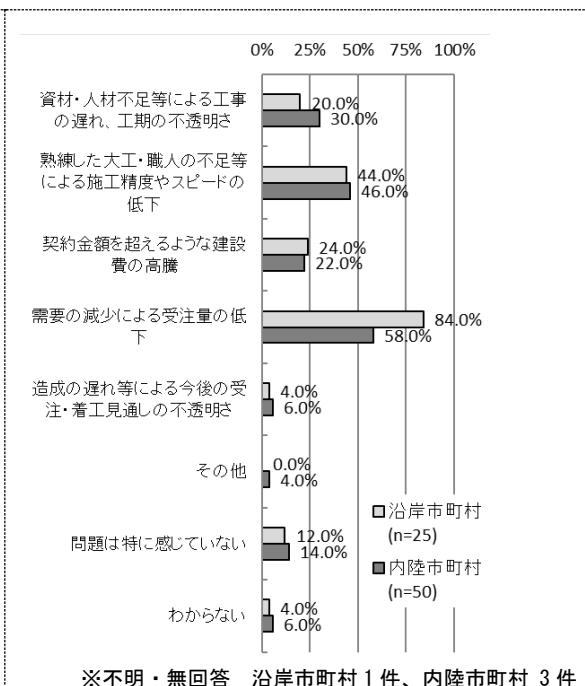
### 【3県合計】(n=134)



### 【岩手県】(n=75) (県単位)



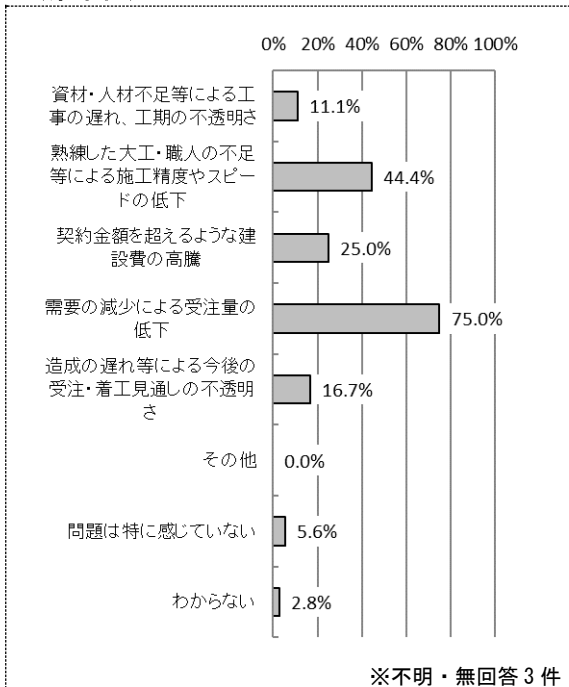
### (沿岸市町村・内陸市町村別)



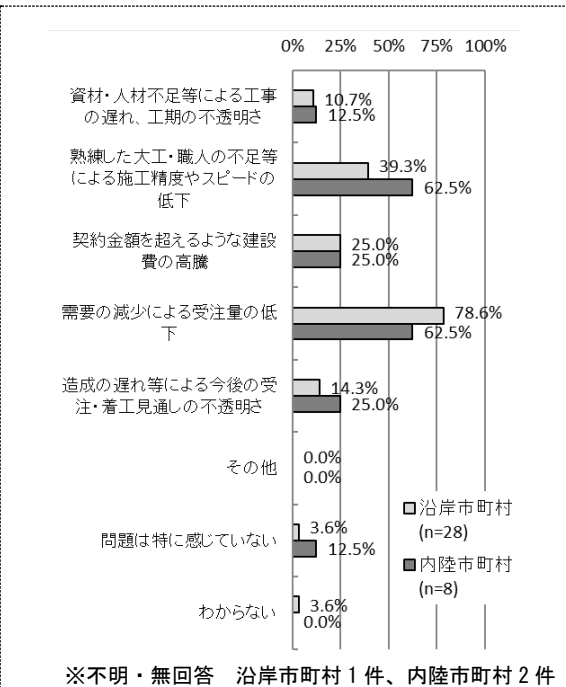
※いずれかの選択肢で「問題あり」と回答し、かつ、「問題は特に感じていない」にも回答している場合は、「問題あり」を優先した。（「問題は特に感じていない」は無効と判断）

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

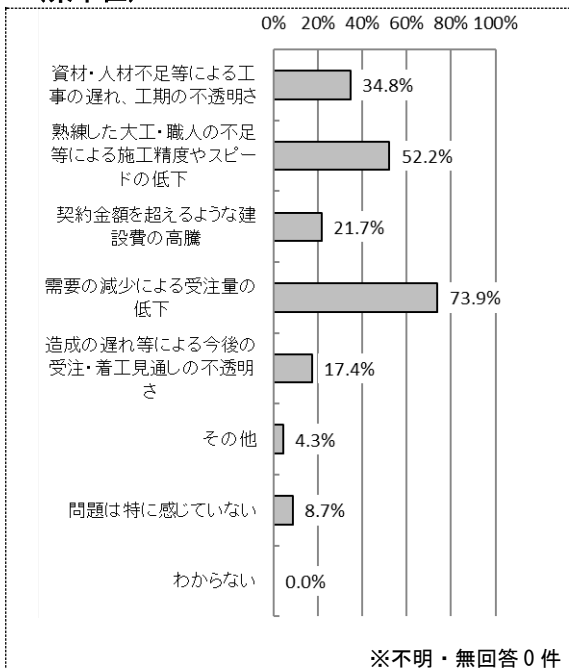
**【宮城県】 (n=36)**  
(県単位)



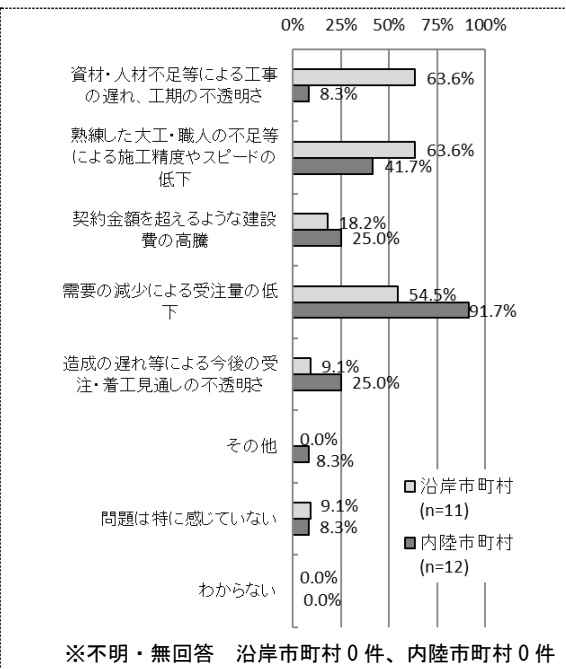
(沿岸市町村・内陸市町村別)



**【福島県】 (n=23)**  
(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)

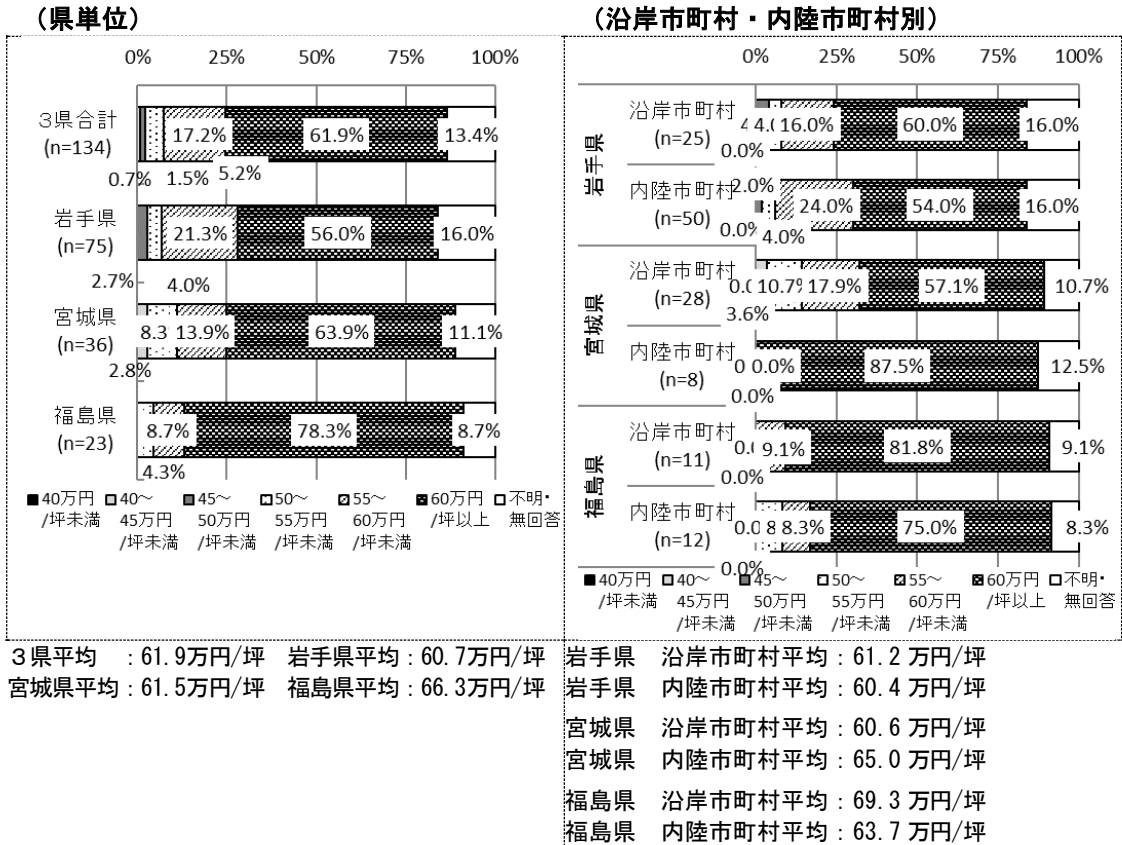


※いずれかの選択肢で「問題あり」と回答し、かつ、「問題は特に感じていない」にも回答している場合は、「問題あり」を優先した。（「問題は特に感じていない」は無効と判断）

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

(4) 現在（震災後）の工事単価（請負金額）（元請の木造住宅新築工事（建替え含む））

- 3県平均で61.9万円/坪、岩手県60.7万円/坪、宮城県61.5万円/坪、福島県66.3万円/坪で高止りの傾向にある。
- 震災前の3県平均49.1万円/坪に比べると12.8万円/坪の大幅増となっている。  
 〈参考〉 第9回調査では3県平均で61.6万円/坪、岩手県60.6万円/坪、宮城県60.3万円/坪、福島県65.9万円/坪。
- 岩手県と福島県では沿岸市町村が内陸市町村に比べて坪単価が高くなっている。



<参考：第9回調査>

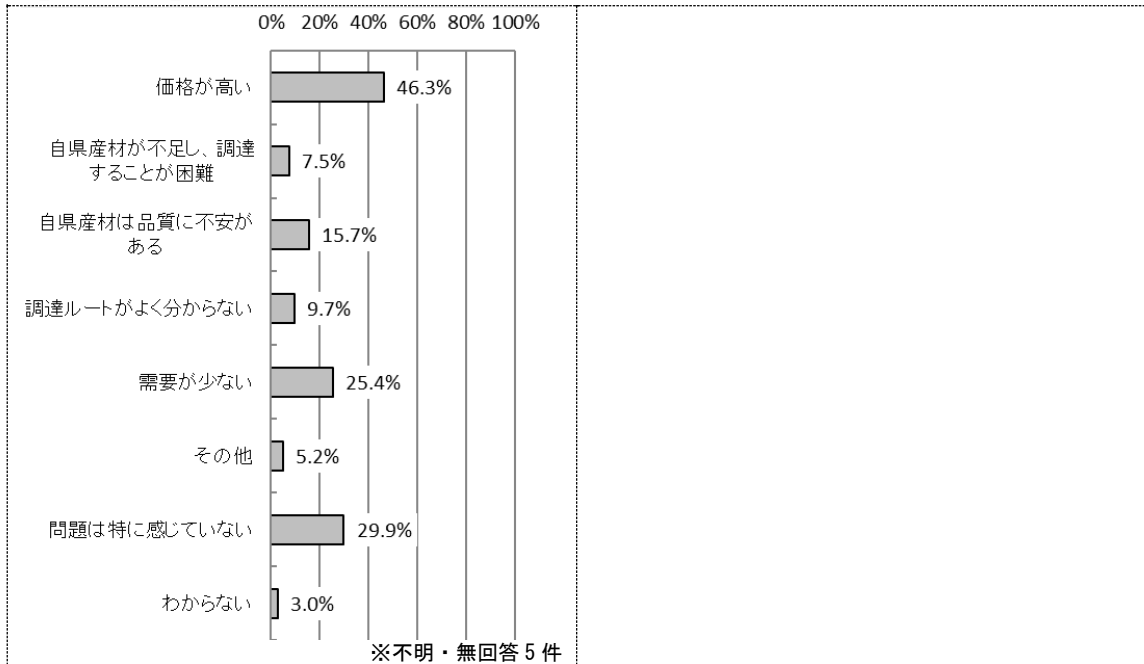
3県平均	: 61.6万円/坪	岩手県平均	: 60.6万円/坪	岩手県 沿岸市町村平均	: 60.1万円/坪
宮城県平均	: 60.3万円/坪	福島県平均	: 65.9万円/坪	岩手県 内陸市町村平均	: 60.8万円/坪
				宮城県 沿岸市町村平均	: 59.1万円/坪
				宮城県 内陸市町村平均	: 65.0万円/坪
				福島県 沿岸市町村平均	: 66.8万円/坪
				福島県 内陸市町村平均	: 65.5万円/坪

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

### (5) 地域材（自県産材）の活用の問題点（複数回答）

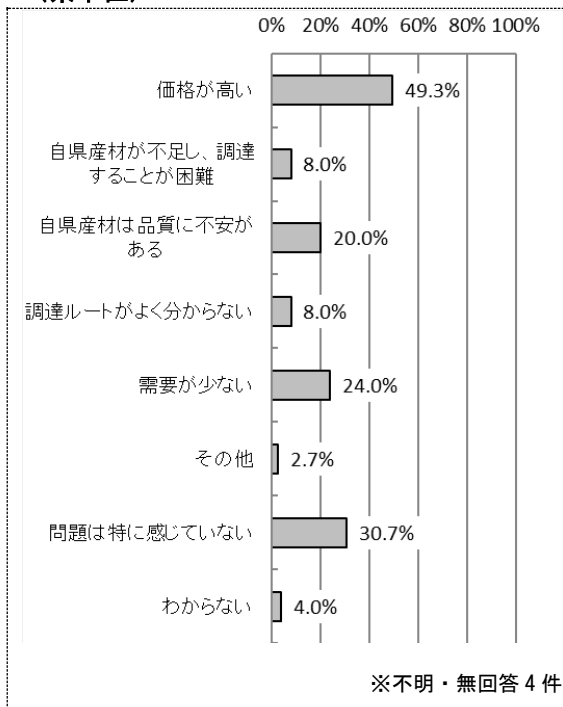
- ・ 3県合計で「問題は特に感じていない」が29.6%で、前回の41.2%に比べて11.6ポイント減少している。
- ・ 内容別には、「価格が高い」が最も高く46.3%、次いで「需要が少ない」「品質に不安がある」が続く。

#### 【3県合計】(n=134)

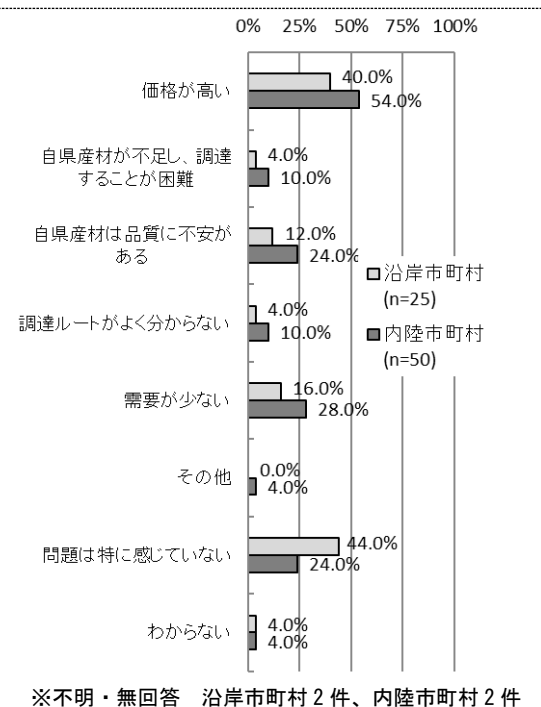


#### 【岩手県】(n=75)

(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)

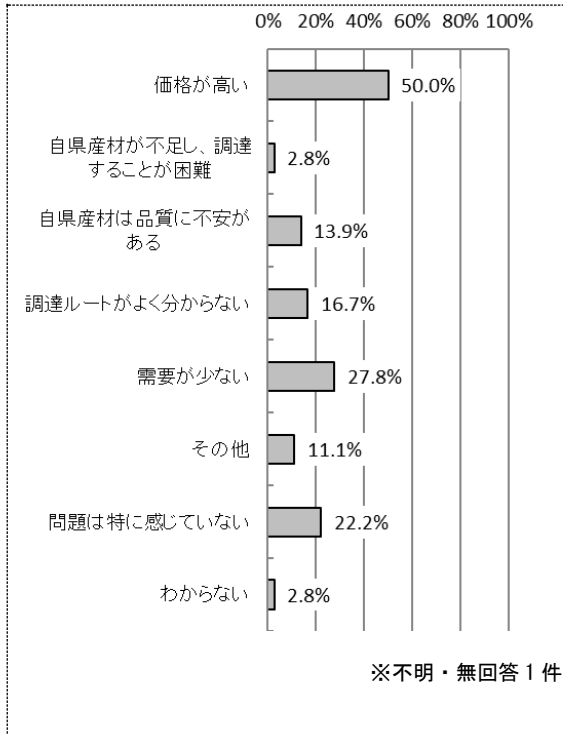


※いずれかの選択肢で「問題あり」と回答し、かつ、「問題は特に感じていない」にも回答している場合は、「問題あり」を優先した。（「問題は特に感じていない」は無効と判断）

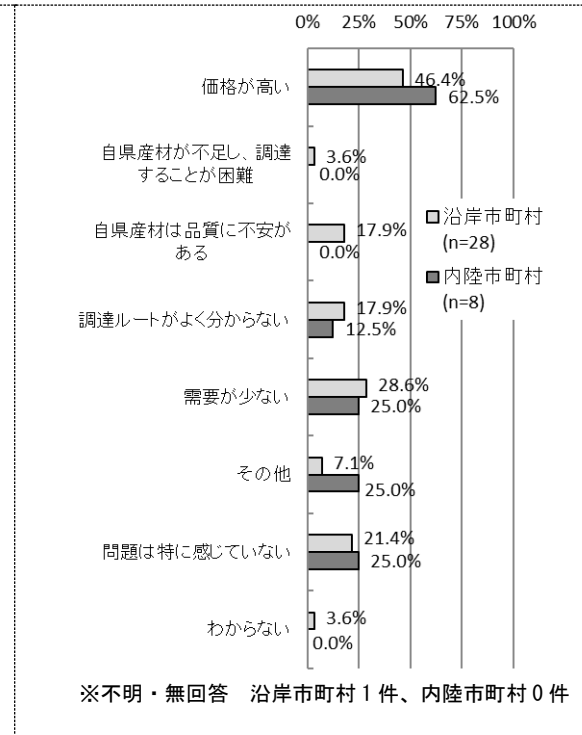
沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）

内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

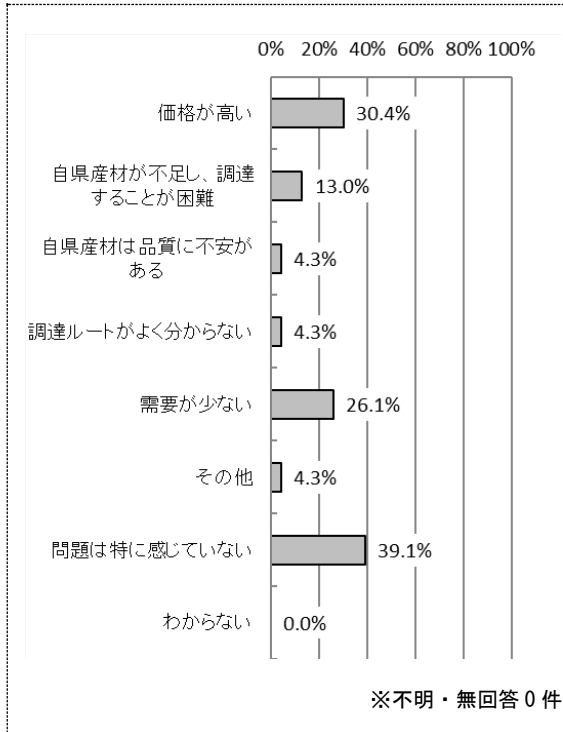
**【宮城県】 (n=36)**  
(県単位)



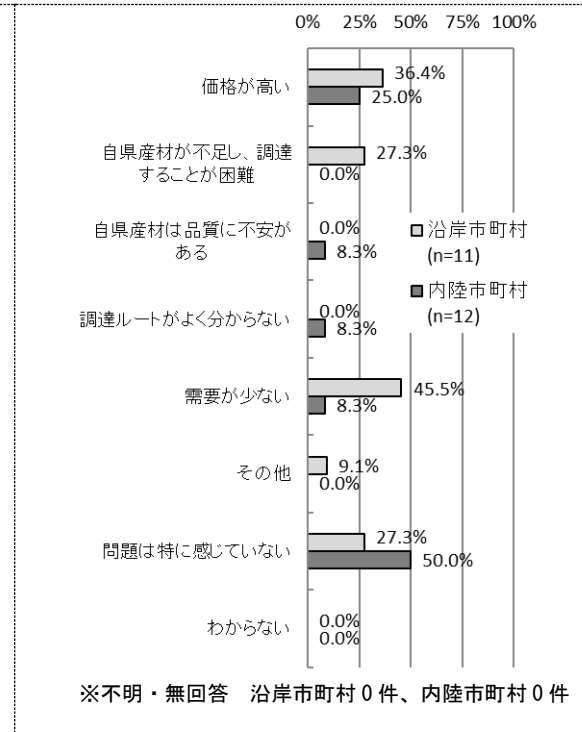
(沿岸市町村・内陸市町村別)



**【福島県】 (n=23)**  
(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



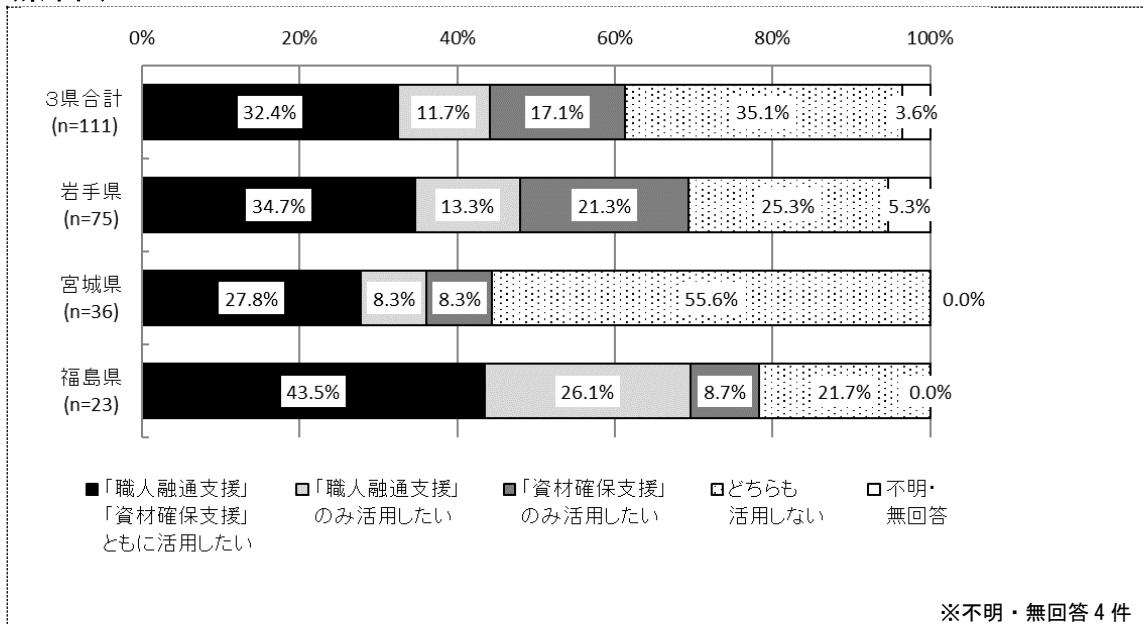
※いずれかの選択肢で「問題あり」と回答し、かつ、「問題は特に感じていない」にも回答している場合は、「問題あり」を優先した。「問題は特に感じていない」は無効と判断

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

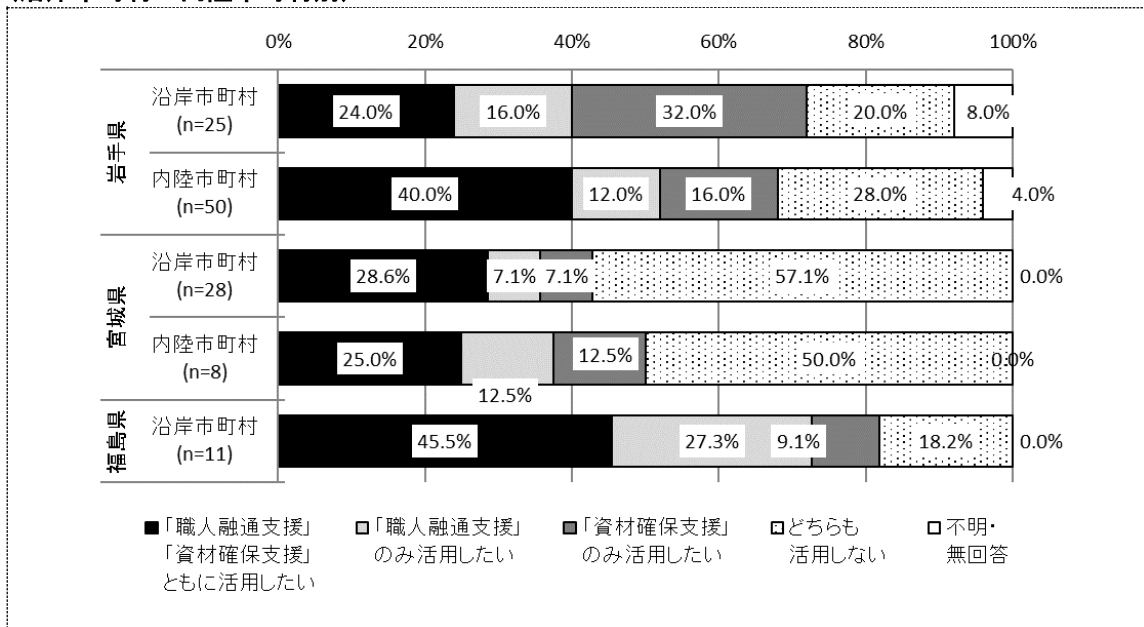
## (6) 今後のマッチングサポート制度活用の意向

- ・ 3県合計で「職人融通支援・資材確保支援ともに活用したい」「職人融通支援のみ活用したい」「資材確保支援のみ活用したい」を合わせると、61.6%と高い割合で施工業者が活用の意向がみられる。
- ・ 支援の内容別では、「職人融通支援・資材確保支援ともに活用したい」が多く、「資材確保支援のみ活用したい」が「職人融通支援のみ活用したい」よりも多い。
- ・ 宮城県では「どちらも活用しない」の割合が高い。
- ・ マッチングサポートをしない理由として最も多く挙げられたのは「職人、資材ともに充足しており、マッチングの必要性を感じていない」であった。

### (県単位)



### (沿岸市町村・内陸市町村別)



沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答



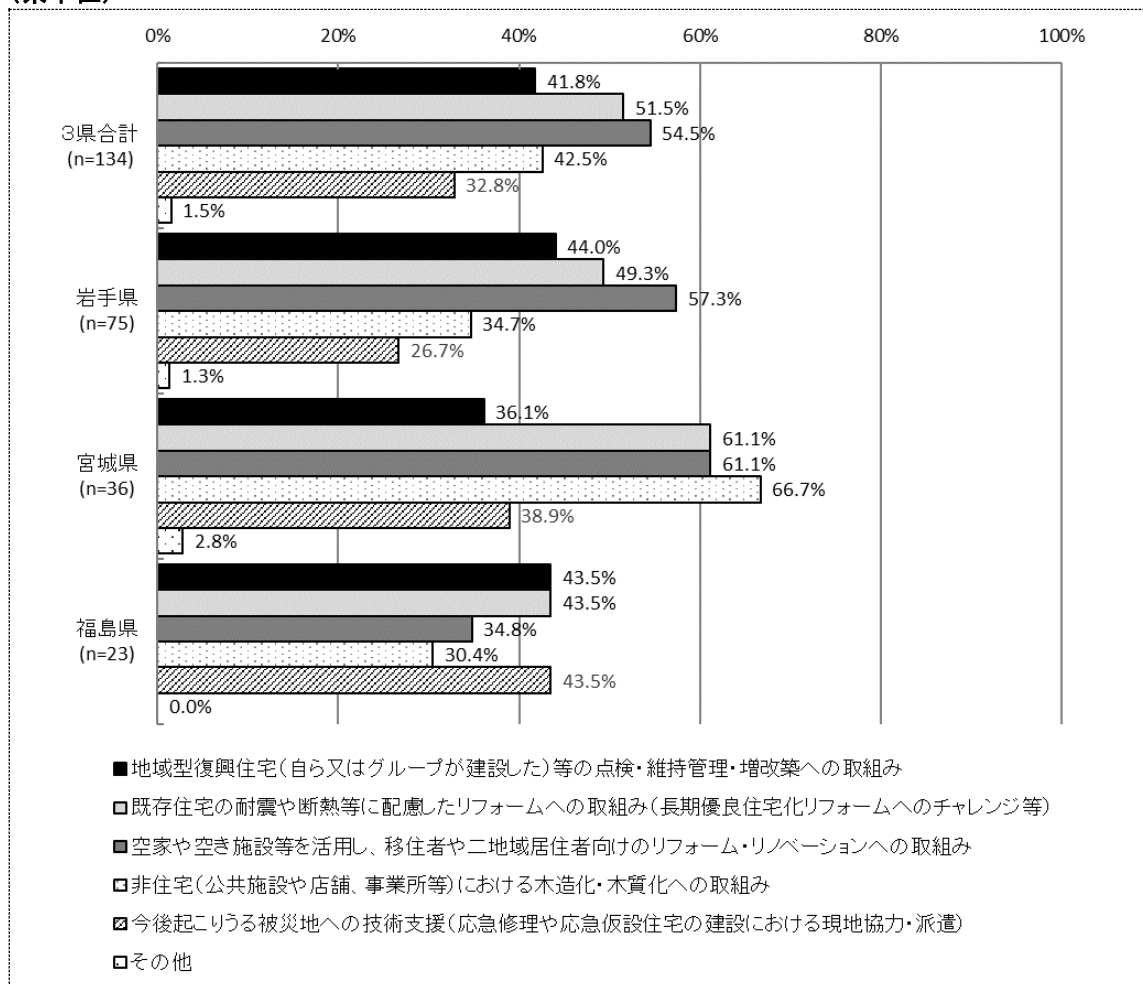
**【マッチングサポートを活用しない理由】** (自由記入)

- 職人、資材ともに充足しており、マッチングの必要性を感じていない。(他 14 件)
- 受注件数が減っており、人員にみあう受注ができています。(他 6 件)
- 知らない人に仕事を頼むことに抵抗がある。(他 2 件)
- 細かな地域に対する能力が足りないなど基本的な知識に不安がある
- 単価の高さ、責任問題が心配である。
- マッチング制度の詳しい内容がわからない。

## (7) 東日本大震災の復興後を見据えた地域住宅生産者グループに期待する取組み

- ・3県合計では「空家や空き施設等を活用し、移住者や二地域居住者向けのリフォーム・リノベーション」が54.5%で最も多く、次いで「既存住宅の耐震や断熱等に配慮したリフォームへの取組み（長期優良住宅化リフォームへのチャレンジ等）」51.5%、「非住宅（公共施設や店舗、事業所等）における木造化・木質化への取組み」が42.5%、「地域型復興住宅等の点検・維持管理・増改築への取組み」41.8%であった。
- ・岩手県では「空家や空き施設等を活用し、移住者や二地域居住者向けのリフォーム・リノベーション」、宮城県では「非住宅（公共施設や店舗、事業所等）における木造化・木質化への取組み」への期待が高く、岩手県では、それぞれの取組へとほぼ均等に期待が表れている。

### 【県単位】



### 【「その他」の自由回答】

- ・グループとして新しい取組みをしなければ、グループとしての活動に限界が感じられる。
- ・震災復興事業の終息気配により、グループの活動も終息傾向に向かっている。

## (8) 今後の地域住宅生産者グループの活動への要望や必要な支援、その他（コロナ禍の住宅受注・建築状況等）

### <今後のグループ活動に対する意見>

- 地域型復興住宅の取り組み成果が、わかりやすく開示されているとありがたい。
- 地域住宅生産者グループの更なる高みを何処へ求めるか現在模索中であり、その指針が国レベル（行政側）からもっと明確に示されて良いのではなかろうか。
- 震災後 10 年過ぎたこともあり、個々の会社の体制の変化なども踏まえて、グループ活動の再度見直しが必要となりそう。
- 地域生産者グループの体制はあるが、存分に生かし切れていない。今後の取り組みが少ない。
- 地域生産者グループの活動そのものへの需要や期待がみえない。
- 内陸グループが沿岸の仕事を行うに当たり、状況により必ずしも生産者グループ構成メンバーに限らず現地近くに協力できるメンバー不在の実情がある。グループを活用できず単独で動かざるを得ない。ここで断熱の技術上の問題もあり業者間のマッチングが求められるが、知らない者同士で金銭面の合意に至るか問題がある。求められるは、地域ごとの少グループにとどまらず最初の段階でグループ構成の際に沿岸プラス内陸の広域グループを視野に入れてもよいと考える。

### <新しい分野への取り組み>

- 「既存住宅の耐震や断熱等に配慮したリフォームへの取り組み（長期優良住宅化リフォームへのチャレンジ等）」や「空家や空き施設等を活用し、移住者や二地域居住者向けのリフォーム・リノベーションへの取り組み」が非常に重要と考える。
- 当団体としては、木造仮設住宅の再利用について一段落したこともあり、非住宅分野での木造化需要増加を見据え、木造躯体の準耐火構造化に、他団体と連携しながら取り組んでいる。
- 新築だけではなく、空き家・空き店舗の大規模改修による利活用需要を取り込みたく、それら需要の掘り出しやマッチングなどに期待している。コロナ過において、その必要性を再認識している。
- 空き家問題を対策していけたらと考えている。
- 水害が増えているので、水害を受けた住宅のリフォームについて十分な知識をグループ内で共有したい。

### <環境整備、後継者育成や技術力向上>

- アナログ&デジタル型の人材の育成。技術的后継者の人材育成。テクニカルスクールがあってもいい。
- 地域材を活用した木造住宅の推進のための環境整備。

### <受注量の減少、コロナ禍の住宅受注・建設状況等>

- コロナ禍での需要が冷え込む中、住宅建築（新築やリフォーム）喚起に繋がる何かしらの国や自治体の対策が必要であると感じている。
- 新型コロナ過が長引くことによる影響が、資材の供給及び価格にどの程度出てくるかが心配。
- 受注減による業界全体の衰退。職人の収入が減り生活が大変になる。
- 若い世代の住宅建設意欲は見て取れますが、住宅建設費用が高騰したままなので想定予算に届かず諦める方が出ている。

- コロナ禍で受注は少ないが終了するまで待ってくれとのお客様も居る。
- コロナ禍によって、購入者の予算がかなり減った印象がある。
- 今後の先行きが、コロナ禍も合わさり一層不透明感が増した気がします。
- コロナ禍により施主様との打ち合わせに期間が掛かるようになった。
- 被災建物のコロナ対策を考慮した復興の対応。
- コロナでイベントが出来ないので集客が少ない。

<その他>

- 震災に関しての新築、増改築等の問い合わせはない。団地内で1棟の住宅を解体し、2～3棟を建て販売しているようだ。
- 自治体で管理する台帳（給水管など）の情報が現地と全く整合していないことがあり、困っている。

### 3. 全10回の調査結果を踏まえた考察

平成25年2月以降これまでに全10回の調査を実施し、被災東北3県の住宅復興の状況を定点把握してきた。

ここでは、これまでの調査結果をもとに、発災からもうすぐ10年を迎えるなかでの現在の住宅の復興状況について概観する。

#### <これまでの調査概要>

	実施時期	3県合計			
		岩手県	宮城県	福島県	
第1回	H25.2 頃	144	76	22	46
第2回	H25.10 頃	181	106	30	45
第3回	H26.7 頃	156	72	51	33
第4回	H27.7 頃	117	57	28	32
第5回	H27.12 頃	115	54	26	35
第6回	H28.10 頃	114	53	42	19
第7回	H29.12 頃	134	64	31	39
第8回	H30.12 頃	143	78	31	34
第9回	R元.12 頃	131	85	20	26
第10回	R2.12 頃	134	75	36	23

※各回調査とも同じグループを対象に調査しているが、毎回、回収率は異なる

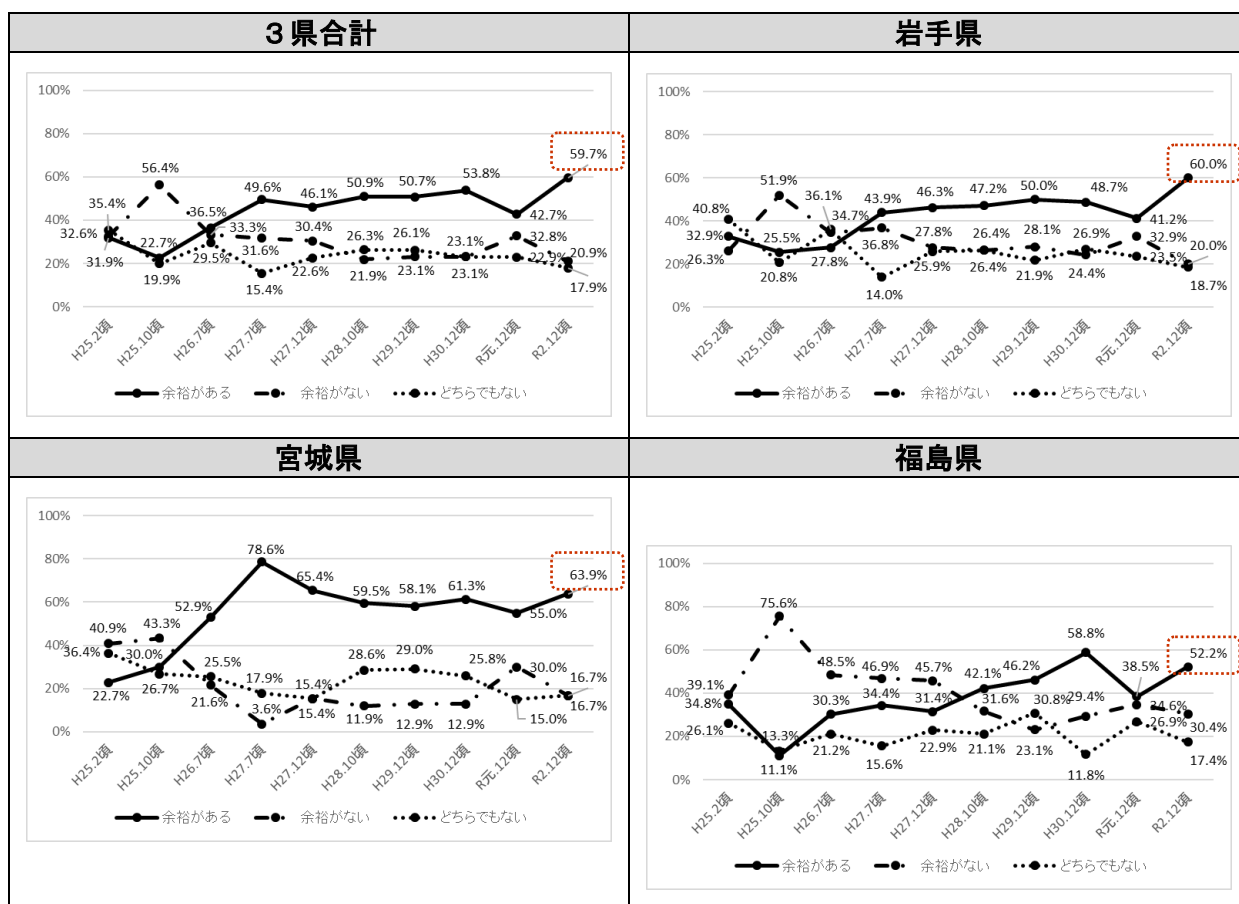
※なお、一部では、活動休止状態を除いて調査票を発送している場合あり

### (1) 受注対応力（余裕の有無）

受注対応力として「余裕がない」「どちらでもない」の合計が半数（55.7%）を超えており、一定数の適度な仕事が確保できていることが伺える。また、ここ数年の推移にて、受注対応力に「余裕がない」のポイントはほぼ横ばいの状況にある。

昨年度調査では10月の令和元年台風19号とその後の大雨被害の直後ということもあり、災害復旧対応による受注増が受注対応力は「余裕がある」が43%まで下がったが、今回調査では59.7%と17ポイントも急増した。コロナ禍における受注の減少、営業活動の自粛等が背景にあると推察される。

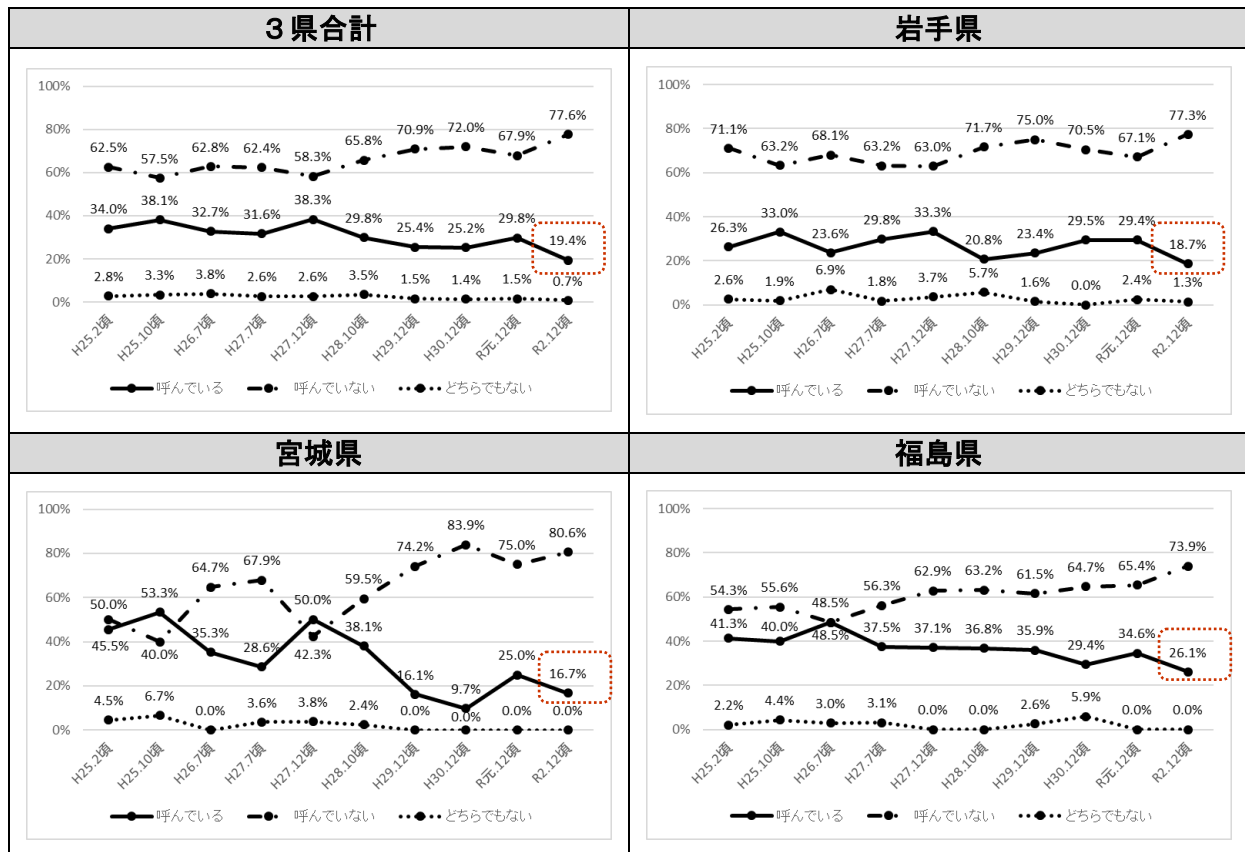
この傾向は、岩手県、宮城県、福島県ともに同様である。



## (2) 他の市町村・県からの大工・職人等の応援状況

他の市町村・県からの大工・職人等の応援について、約2割が「応援を呼んでいる」結果であった。推移をみると、第5回調査以降「応援を呼んでいる」は減少し、「応援を呼んでいない」が増加傾向にある。

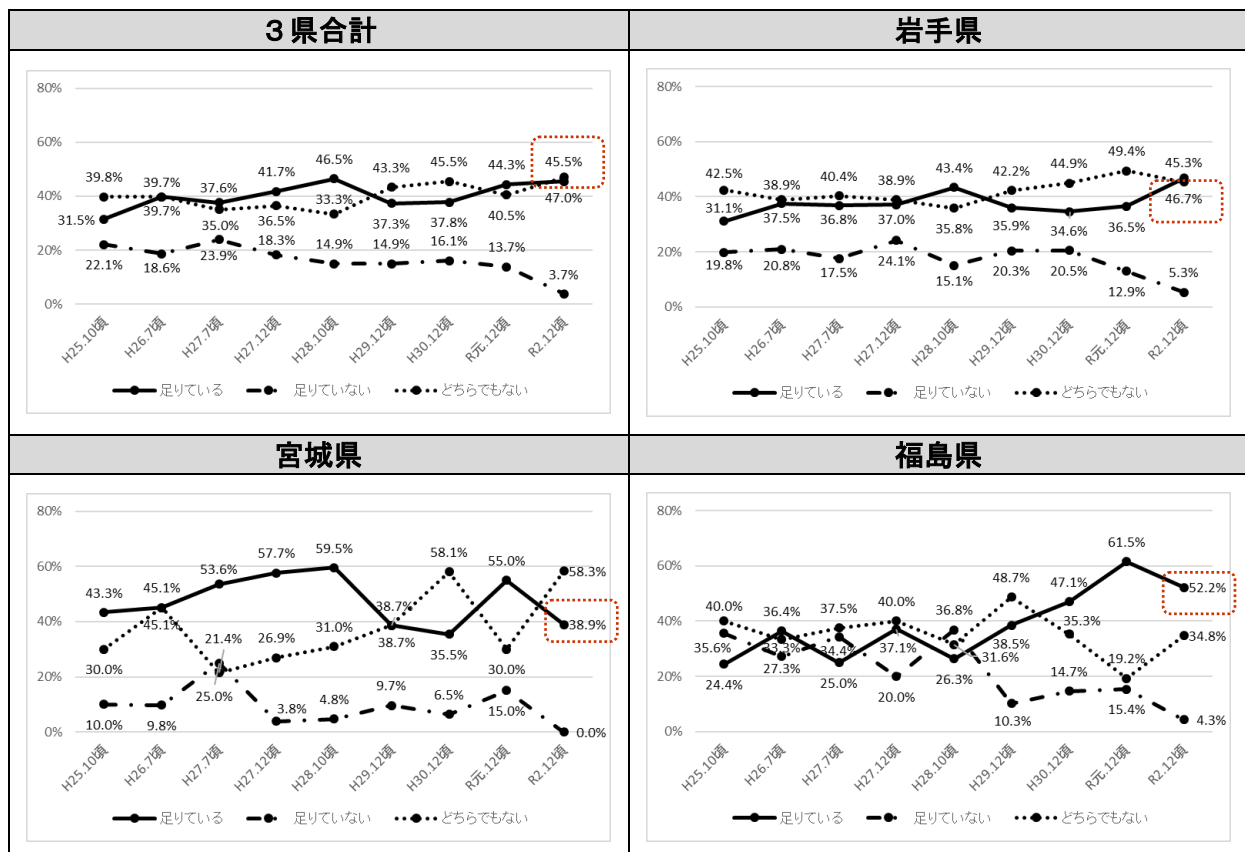
受注対応に「余裕がある」状況でもあり、市外・県外からの応援要請は特に必要がない状況にある。



### (3) 大工・職人等の宿泊施設の状況

大工・職人等の宿泊施設の状況は、3県合計で「足りている」が約45%であり、ここ数年は微増傾向にある。

また、「足りていない」は3県ともに減少しているが、若干ではあるがいまだに宿泊施設が不足している状況もみられる。



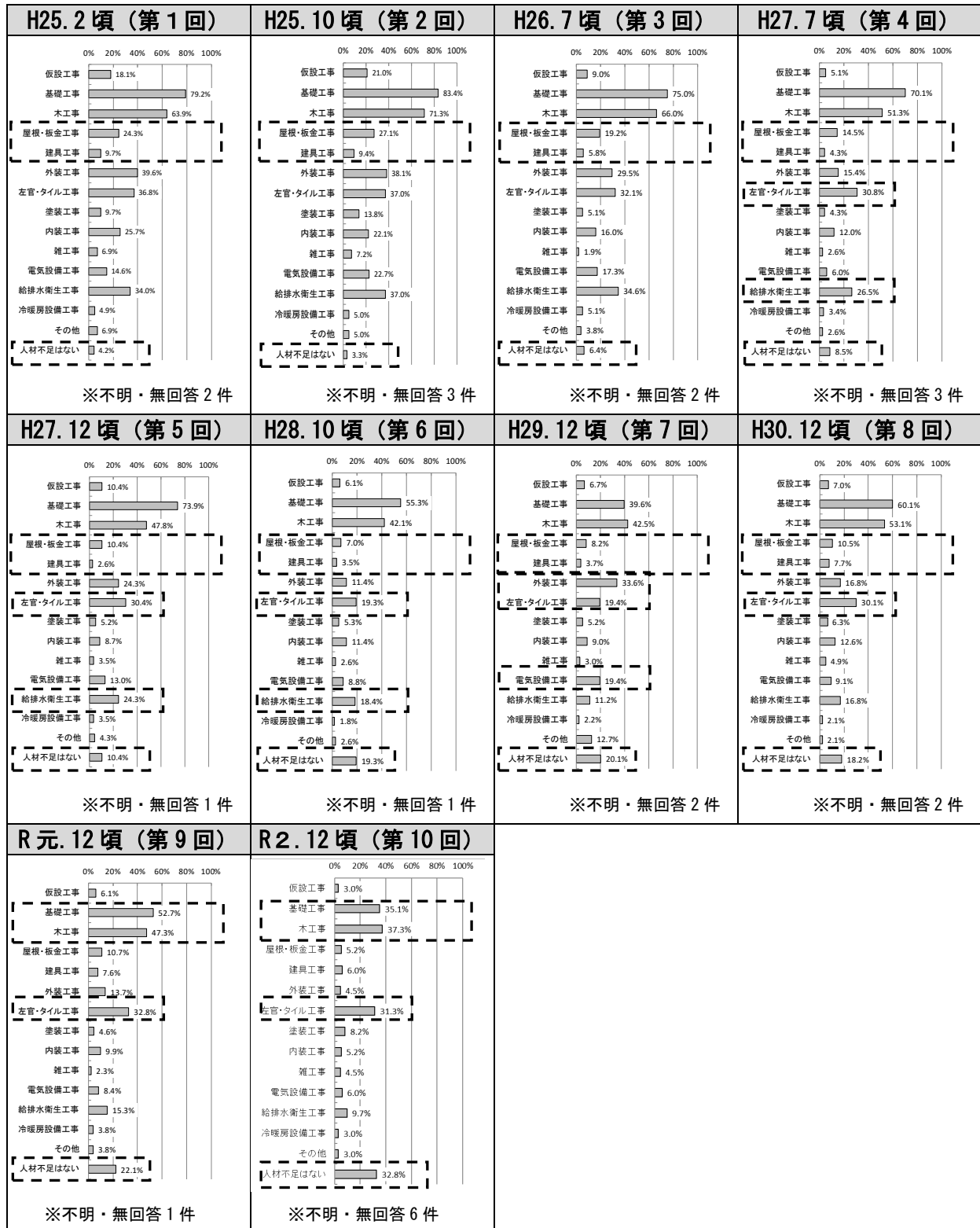


(4) 工事種別人材の状況 ①【3県合計】

「人材不足はない」の割合が増加（今回 10.7 ポイント上昇）したが、ほとんどの施工業者になんらかの人材不足が発生している状況にある。

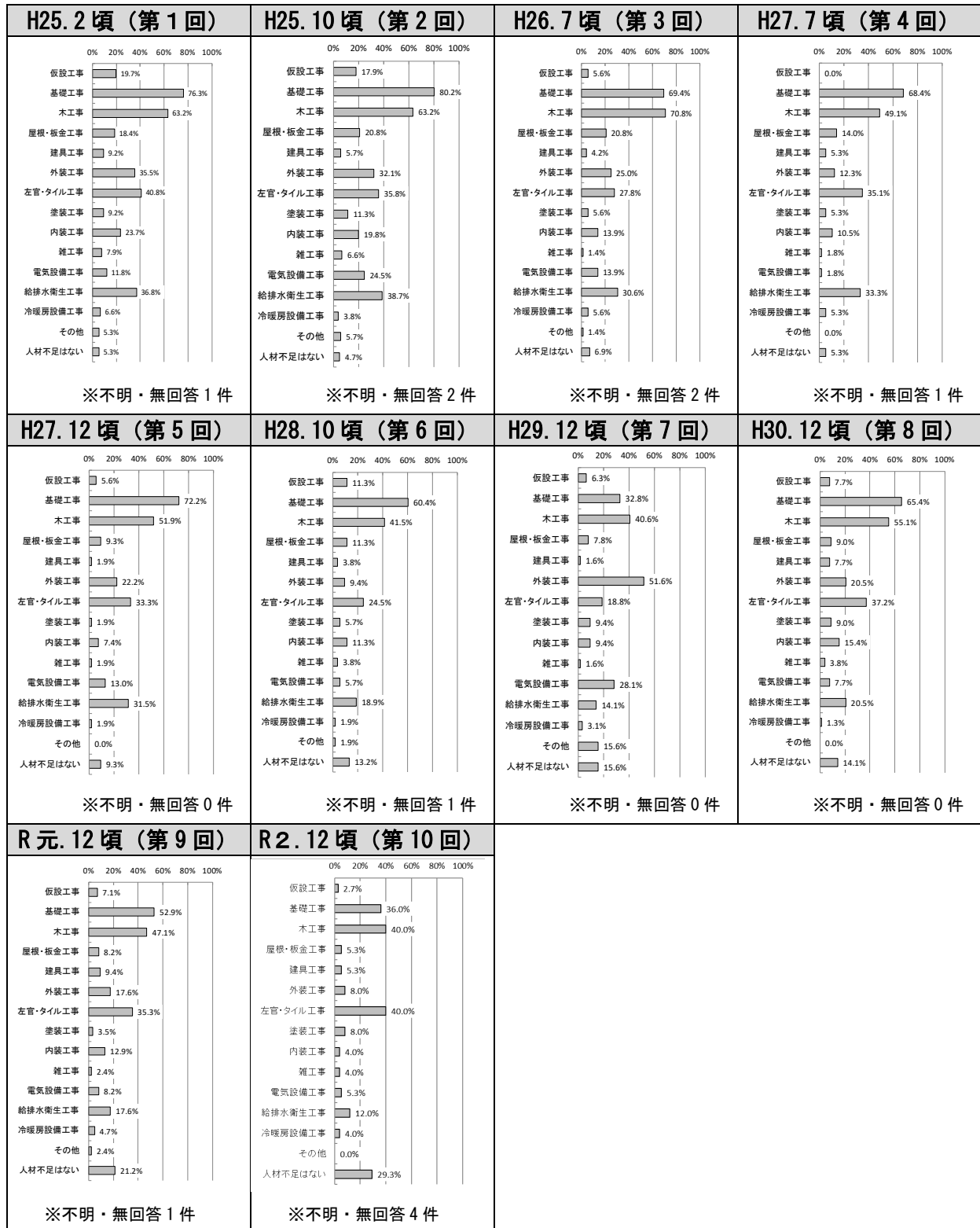
第1回調査以降、「基礎工事」「木工事」「左官・タイル工事」が不足していることがわかる。次いで、「給排水衛生工事」、「外装工事」などの不足が続く。

なお、「基礎工事」「木工事」「左官・タイル工事」を中心に職人の高齢化や後継者不足が進んでおり、今後もこの傾向は続くと推察される。



(4) 工事種別人材の状況 ②【岩手県】

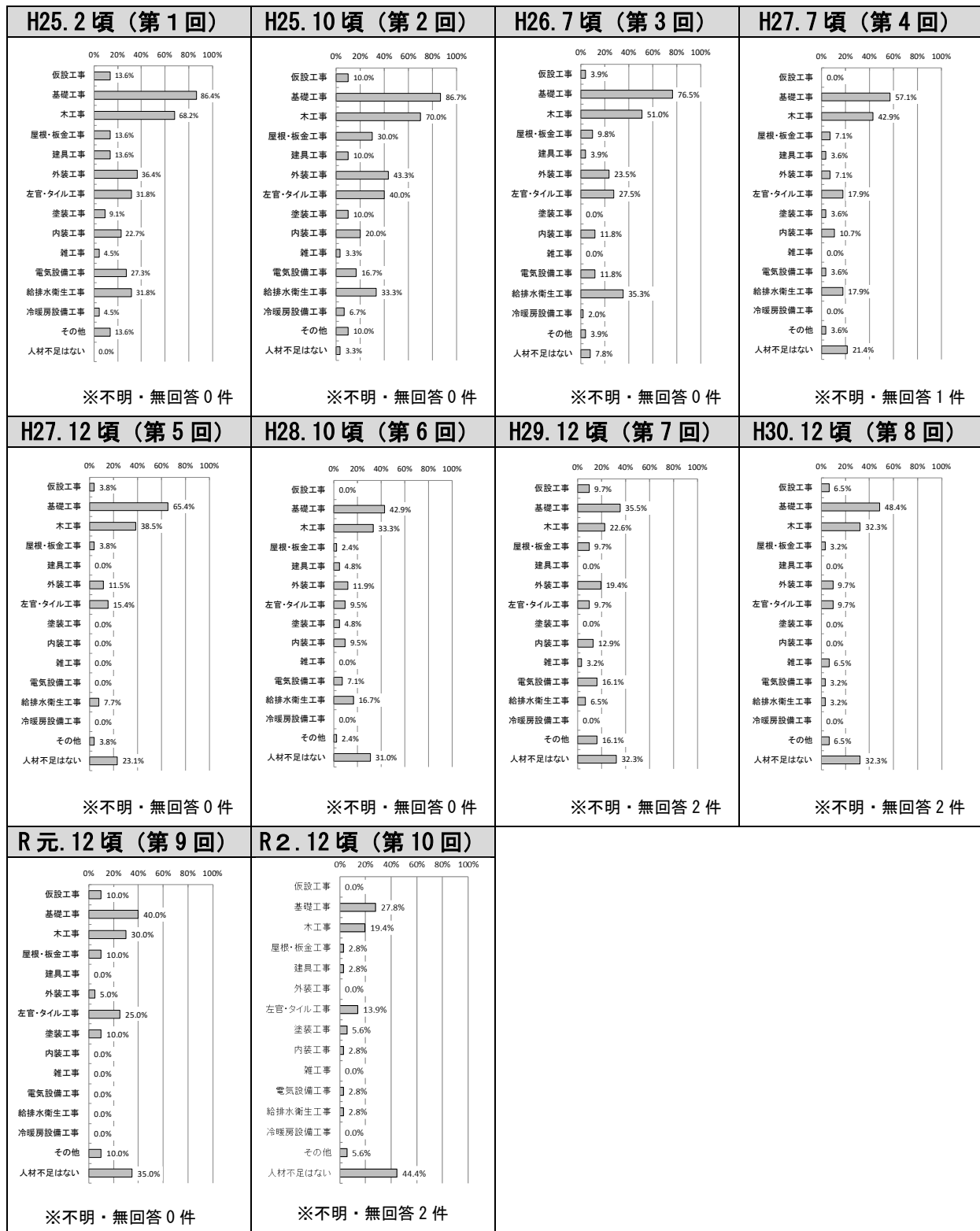
岩手県についても、①3県合計とほぼ同じ結果であり、「人材不足はない」が徐々に増加（今回 8.1 ポイント上昇）し、不足職種は、「木工事」「左官・タイル工事」「基礎工事」である。



(4) 工事種別人材の状況 ③【宮城県】

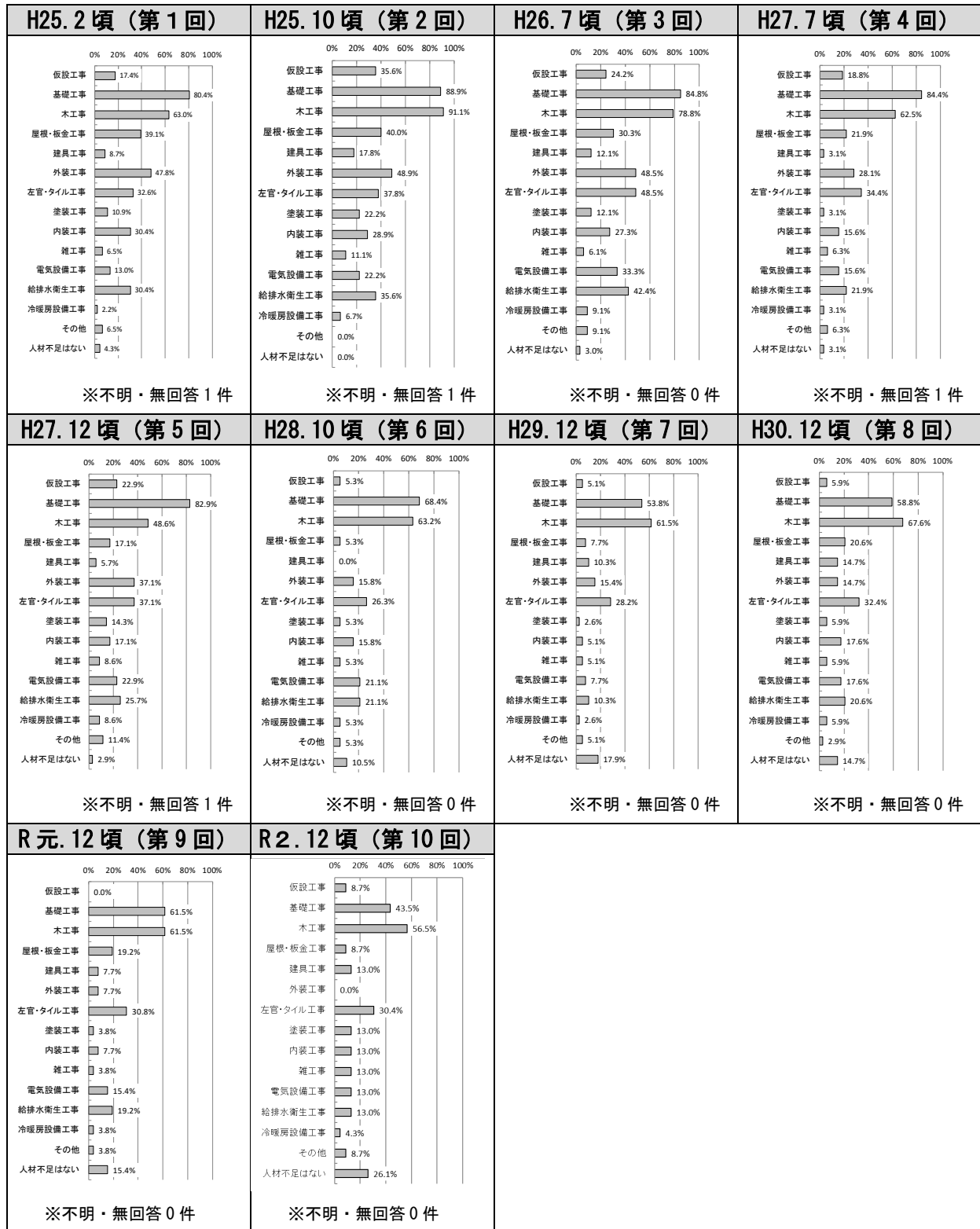
宮城県についても、①3県合計とほぼ同じ結果だが「人材不足はない」が44.4%と多いのが特徴的である。

また、不足職種は、「基礎工事」「木工事」「左官・タイル工事」であり、他県と同じである。



### (4) 工事種別人材の状況 ④【福島県】

福島県についても、①3県合計とほぼ同じ結果であり、「人材不足はない」が徐々に増加し（今回 10.7 ポイント上昇）、不足職種は「木工事」が他工事に比較して高いのが特徴であり、次いで「基礎工事」「左官・タイル工事」である。



### (5) 建材・資材等の状況 ①【3県合同】

建材・資材の不足の状況は、3県合計で「不足はない」が85.1%であり、今回調査にて11.1ポイント上昇している。

これまで不足状況がみられた「コンクリート」のポイント数そのものは減少し、「住設機器」にて若干ではあるがポイント上昇がみられる。

H25.2 頃 (第1回)	H25.10 頃 (第2回)	H26.7 頃 (第3回)	H27.7 頃 (第4回)
<p>※不明・無回答 12 件</p>	<p>※不明・無回答 17 件</p>	<p>※不明・無回答 14 件</p>	<p>※不明・無回答 10 件</p>
H27.12 頃 (第5回)	H28.10 頃 (第6回)	H29.12 頃 (第7回)	H30.12 頃 (第8回)
<p>※不明・無回答 9 件</p>	<p>※不明・無回答 4 件</p>	<p>※不明・無回答 7 件</p>	<p>※不明・無回答 7 件</p>
R元.12 頃 (第9回)	R2.12 頃 (第10回)		
<p>※不明・無回答 4 件</p>	<p>※不明・無回答 13 件</p>		

(5) 建材・資材等の状況 ②【岩手県】

岩手県についても、①3県合計とほぼ同じ結果であり、「不足はない」が85.3%である。今回調査にて10ポイントも上昇していることが特徴的である。

「コンクリート」不足は2.7%にまで減少しており、建材・資材等の需給関係は特に問題ないといえる。

H25. 2 頃 (第 1 回)	H25. 10 頃 (第 2 回)	H26. 7 頃 (第 3 回)	H27. 7 頃 (第 4 回)
<p>※不明・無回答 6 件</p>	<p>※不明・無回答 13 件</p>	<p>※不明・無回答 9 件</p>	<p>※不明・無回答 5 件</p>
H27. 12 頃 (第 5 回)	H28. 10 頃 (第 6 回)	H29. 12 頃 (第 7 回)	H30. 12 頃 (第 8 回)
<p>※不明・無回答 5 件</p>	<p>※不明・無回答 4 件</p>	<p>※不明・無回答 5 件</p>	<p>※不明・無回答 5 件</p>
R 元. 12 頃 (第 9 回)	R 2. 12 頃 (第 10 回)		
<p>※不明・無回答 4 件</p>	<p>※不明・無回答 8 件</p>		

(5) 建材・資材等の状況 ③【宮城県】

宮城県については「不足はない」が83.3%を占めているが、前回調査よりも11.7ポイント減少している。「住設機器」不足は8.7%と高くなっている。

H25.2 頃 (第1回)	H25.10 頃 (第2回)	H26.7 頃 (第3回)	H27.7 頃 (第4回)
<p>※不明・無回答 2 件</p>	<p>※不明・無回答 2 件</p>	<p>※不明・無回答 3 件</p>	<p>※不明・無回答 1 件</p>
H27.12 頃 (第5回)	H28.10 頃 (第6回)	H29.12 頃 (第7回)	H30.12 頃 (第8回)
<p>※不明・無回答 1 件</p>	<p>※不明・無回答 0 件</p>	<p>※不明・無回答 2 件</p>	<p>※不明・無回答 2 件</p>
R元.12 頃 (第9回)	R2.12 頃 (第10回)		
<p>※不明・無回答 0 件</p>	<p>※不明・無回答 4 件</p>		

(5) 建材・資材等の状況 ④【福島県】

福島県についても、建材・資材等の「不足はない」が87%であり、今回調査にて30ポイント以上も増加している。

「コンクリート」「住設機器」不足での回答がみられる。

H25.2 頃 (第1回)	H25.10 頃 (第2回)	H26.7 頃 (第3回)	H27.7 頃 (第4回)
<p>※不明・無回答 4 件</p>	<p>※不明・無回答 2 件</p>	<p>※不明・無回答 2 件</p>	<p>※不明・無回答 4 件</p>
H27.12 頃 (第5回)	H28.10 頃 (第6回)	H29.12 頃 (第7回)	H30.12 頃 (第8回)
<p>※不明・無回答 3 件</p>	<p>※不明・無回答 0 件</p>	<p>※不明・無回答 0 件</p>	<p>※不明・無回答 0 件</p>
R元.12 頃 (第9回)	R2.12 頃 (第10回)		
<p>※不明・無回答 0 件</p>	<p>※不明・無回答 1 件</p>		



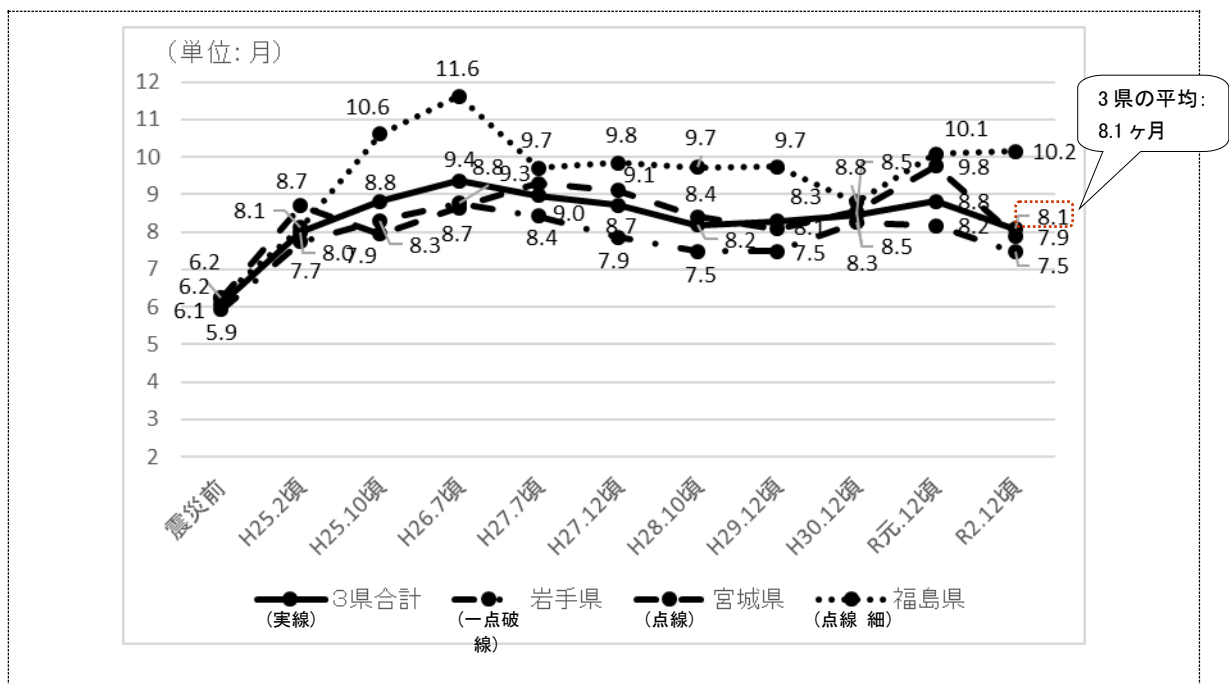
(6) 契約～完成・引渡までの平均期間 (単位：ヶ月)

契約～完成・引渡しまでの期間は、震災以降これまで期間の長短を繰り返すような状況にあり、今回は期間の短縮となった(0.7ポイント減少)。福島県はほぼ横ばい、岩手県、宮城県では期間の短縮傾向がみられる。

しかし、震災前の3県合計6.1ヶ月と比べると2ヶ月も長くなっており、震災前の通常期間にまで戻るには、まだ、時間が必要と推察される。

なお、今回のコロナ禍の影響によって、工務店等からは、施主との打合せができない、住設機器等をはじめとした資材調達等がしにくい、活動自粛による建設工事の長期化などの声が聞かれており、今後しばらくの間は契約から完成・引渡までの長期化に転じていくことが推察される。

	震災前	震災後									
		H25.2頃 第1回	H25.10頃 第2回	H26.7頃 第3回	H27.7頃 第4回	H27.12頃 第5回	H28.10頃 第6回	H29.12頃 第7回	H30.12頃 第8回	R元.12頃 第9回	R2.12頃 第10回
3県合計	6.1ヶ月	⇒(UP) 8.0ヶ月	⇒(UP) 8.8ヶ月	⇒(UP) 9.4ヶ月	⇒(DW) 9.0ヶ月	⇒(DW) 8.7ヶ月	⇒(UP) 8.2ヶ月	⇒(UP) 8.3ヶ月	⇒(UP) 8.5ヶ月	⇒(UP) 8.8ヶ月	⇒(DW) 8.1ヶ月
岩手県	5.9ヶ月	⇒(UP) 7.7ヶ月	⇒(UP) 8.3ヶ月	⇒(UP) 8.8ヶ月	⇒(DW) 8.4ヶ月	⇒(DW) 7.9ヶ月	⇒(UP) 7.5ヶ月	⇒(UP) 7.5ヶ月	⇒(UP) 8.3ヶ月	⇒(DW) 8.2ヶ月	⇒(DW) 7.5ヶ月
宮城県	6.2ヶ月	⇒(UP) 8.7ヶ月	⇒(DW) 7.9ヶ月	⇒(UP) 8.7ヶ月	⇒(UP) 9.3ヶ月	⇒(DW) 9.1ヶ月	⇒(DW) 8.4ヶ月	⇒(DW) 8.1ヶ月	⇒(UP) 8.5ヶ月	⇒(UP) 9.8ヶ月	⇒(DW) 7.9ヶ月
福島県	6.2ヶ月	⇒(UP) 8.1ヶ月	⇒(UP) 10.6ヶ月	⇒(UP) 11.6ヶ月	⇒(DW) 9.7ヶ月	⇒(UP) 9.8ヶ月	⇒(DW) 9.7ヶ月	⇒(UP) 9.7ヶ月	⇒(DW) 8.8ヶ月	⇒(UP) 10.1ヶ月	⇒(UP) 10.2ヶ月



※各回調査とも同じグループを対象に調査を行っているが、毎回、回収率は異なっており、上表の結果は各回調査の平均値で示している。

※震災前の状況は、第1回調査における調査結果に基づく。

## (7) 平均工事単価（請負金額）の状況 （単位：万円/坪）

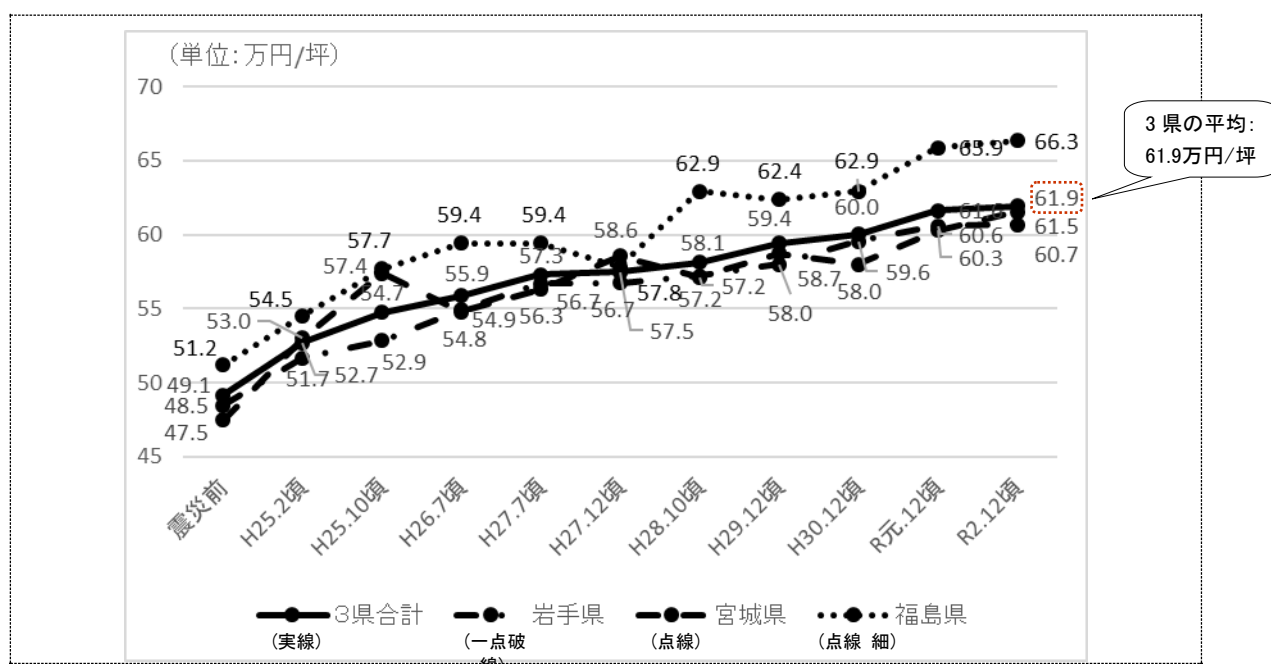
震災以降、工事単価（請負金額）は上昇傾向が続いており、増減傾向に若干の違いはみられるが3県ともに上昇傾向が続いていることに変わりはない。

今回調査では、これまでで最も高い工事単価となり、3県合計で61.9万円/坪と震災前の49.1万円/坪と比べると、12.8万円/坪の大幅増となった。

特に、福島県では66.3万円/坪まで上がっており、震災前から15.1万円/坪も増加している。

大工（木工事）、仮枠工（基礎工事）、左官工（左官・タイル工事）等の職人の高齢化や後継者不足が著しいこと、太陽光発電、住宅の高断熱化、住宅設備の価格上昇などから、工事単価の高止まりは今後も続くと推察される。

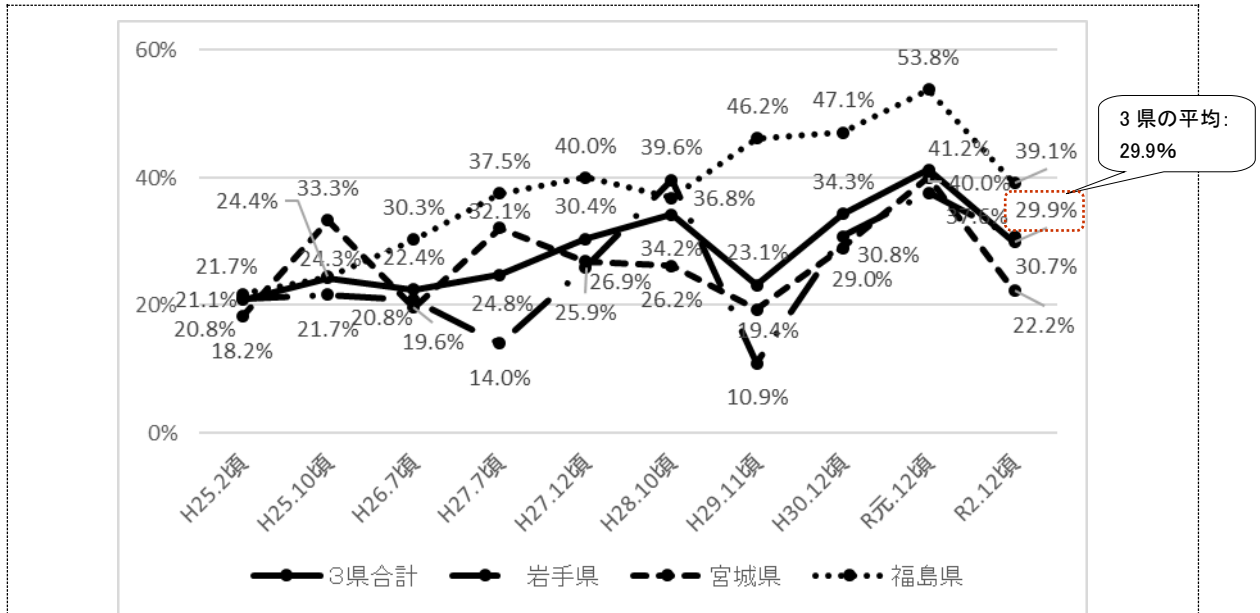
	震災前	震災後																			
		H25.2 頃 第1回	H25.10 頃 第2回	H26.7 頃 第3回	H27.7 頃 第4回	H27.12 頃 第5回	H28.10 頃 第6回	H29.12 頃 第7回	H30.12 頃 第8回	R元.12 頃 第9回	R2.12 頃 第10回										
3県合計	49.1万円	⇒ (UP)	52.7万円	⇒ (UP)	54.7万円	⇒ (UP)	55.9万円	⇒ (UP)	57.3万円	⇒ (UP)	57.5万円	⇒ (UP)	58.1万円	⇒ (UP)	59.4万円	⇒ (UP)	60.0万円	⇒ (UP)	61.6万円	⇒ (UP)	61.9万円
岩手県	48.5万円	⇒ (UP)	51.7万円	⇒ (UP)	52.9万円	⇒ (UP)	54.9万円	⇒ (UP)	56.7万円	⇒ (UP)	56.7万円	⇒ (UP)	57.2万円	⇒ (UP)	58.0万円	⇒ (UP)	59.6万円	⇒ (UP)	60.6万円	⇒ (UP)	60.7万円
宮城県	47.5万円	⇒ (UP)	53.0万円	⇒ (UP)	57.4万円	⇒ (DW)	54.8万円	⇒ (UP)	56.3万円	⇒ (UP)	58.6万円	⇒ (DW)	57.2万円	⇒ (UP)	58.7万円	⇒ (DW)	58.0万円	⇒ (UP)	60.3万円	⇒ (UP)	61.5万円
福島県	51.2万円	⇒ (UP)	54.5万円	⇒ (UP)	57.7万円	⇒ (UP)	59.4万円	⇒ (UP)	59.4万円	⇒ (DW)	57.8万円	⇒ (UP)	62.9万円	⇒ (DW)	62.4万円	⇒ (UP)	62.9万円	⇒ (UP)	65.9万円	⇒ (UP)	66.3万円



※ここでの工事単価は、元請の木造住宅新築工事(建替え含む)。  
 ※各回調査とも同じグループを対象に調査を行っているが、毎回、回収率は異なっており、上表の結果は各回調査の平均値で示している。  
 ※震災前の状況は、第1回調査における調査結果に基づく。

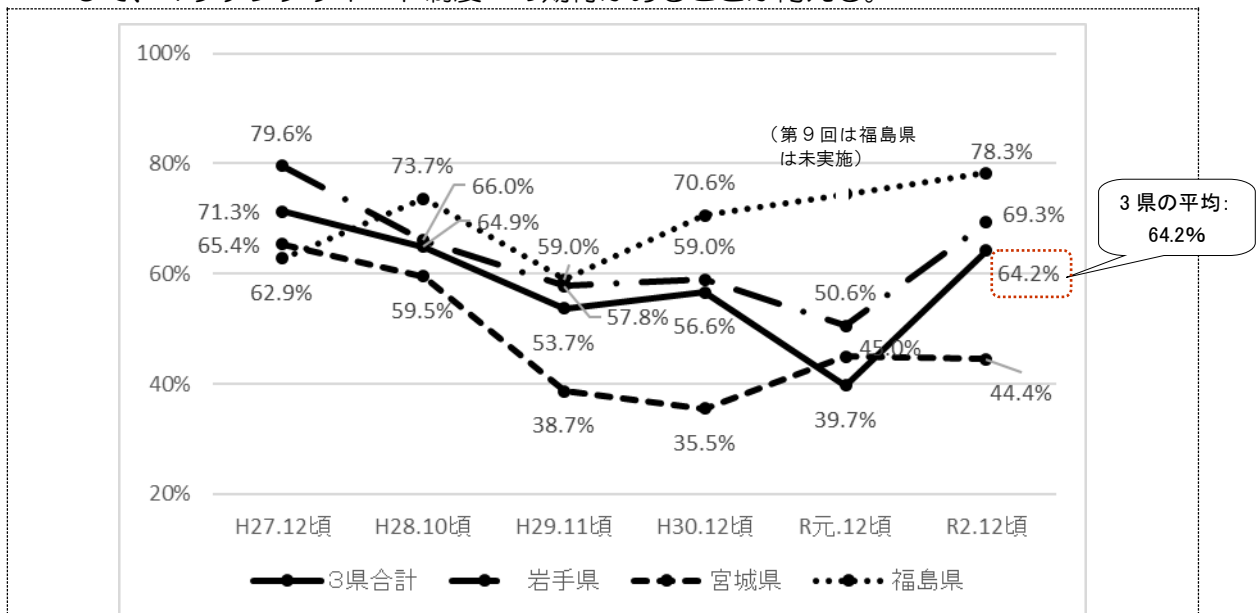
## (8) 地域材の活用

地域材の活用の際に「問題は特に感じていない」とする割合が約3割となっており、ここ数年は「問題は特に感じていない」の比率が高くなる傾向にあったが、今回調査にて約10ポイント下がっている。ただし、各県ともに調査開始時期に比べれば1.5~2倍近いポイントになっており、地域材の需要と供給が安定化しつつあることや地域材の活用に関する環境整備が進んできたことが推察される。



## (9) マッチングサポート制度の活用

職人融通支援、資材確保支援のいずれか又はともに活用したいとする合計をみると、3県合計で64.2%、福島県では78.3%、岩手県では69.3%と高い活用ニーズがみられる。ここ数年は、復興需要が旺盛だった調査開始時期に比べて減少傾向にあったが、今回調査の結果では開始直後に近いポイント数となっており、施工事業者への支援策として、マッチングサポート制度への期待があることが伺える。



## (10) 今後の地域住宅生産者グループの活動に向けて

被災地での復興需要の減少ならびに全国的な人口・世帯数の減少、さらに、コロナ禍の影響を受けて経済活動の停滞・縮小傾向が続く状況の中で、施工事業者は、将来的な先行きへの不安を抱えている状況にある。施工事業者が安心して活動できる環境整備や支援の必要性とともに、新たな住宅市場を視野に置いた需給構造への転換を見据えた活動が求められる。

地域住宅生産者グループに求められる役割は、1社では対応しきれない課題にグループで立ち向かい、新たな需要の開拓、環境整備や後方支援などに対して「強み」を発揮することにある。

ひとつには、地域住宅生産者グループは、グループに参加している施工事業者による新しい分野への取組みを後押しすることが必要である。

「被災した住宅の修理」、「リフォームやリノベーション市場への参入」、「非住宅分野での木造化・木質化への取組み」などが、今後、市場の広がりが期待できる新しい分野であり、施工業者を支援していくべき取組みといえる。

また、施工業者が、地域住宅生産者グループに参画するメリットを享受できるように、1社のみでは対応が難しい後継者育成や技術力向上のための環境整備、といった取組みに力を入れていくことも必要である。

発災からもうすぐ10年を迎え東日本大震災の復興需要は落ち着きつつあるが、毎年のように発生する大規模災害への対応、コロナ禍での経済活動への貢献など、地域住宅生産者グループは地域の経済、雇用、文化などを守る担い手として、これまでの住宅復興を支えてきた地域住宅生産者グループの活動を、復興対応だけでなく平時の業務においても価値ある活動として継続していくことが、なによりも重要である。

地域住宅生産者グループは、「グループ」としての存在意義を再認識し、社会や時代のニーズにあった新しい分野に視野を広げつつ、グループに参画する施工業者の発展を目指して、持続可能な活動を続けていくことが必要である。

地域型復興住宅推進協議会は、地域住宅生産者グループによるこれらの活動を、今後ともしっかりとサポートしていく予定である。

<参考①> 被災三県の住宅復興に関する実態把握調査【第10回】 調査票

被災三県の住宅復興に関する実態把握調査【第10回】 調査票		
<b>【概ねの状況として把握されている範囲で、ご回答いただければ結構です】</b>		
<b>1. 貴社の属性について教えてください</b>		
① グループ名称	:	<input style="width: 95%;" type="text"/>
② 貴社所在地	:	<input style="width: 20%;" type="text"/> 県 <input style="width: 75%;" type="text"/>
③ 現在の貴社の主な業務内容はどれですか。【あてはまる番号1つを右欄に記入】	:	<input style="width: 40%;" type="text"/>
1. 被災した住宅の修理や改修が中心                      2. 元請の新築・建替工事が中心 3. 下請の新築・建替工事が中心                              4. 住宅以外の建築物の新築や修理・改修が中心		
④ 現在の貴社の事業エリアはどこですか。【あてはまるものに○(複数可)】		
A. 自市町村内	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
B. 県内の近隣市町村	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
C. 県内広域	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
D. 県外(東北)	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
E. 東北以外	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
<b>2. 元請の木造住宅新築工事(建替え含む)の受注の状況について教えてください</b>		
① 現在の主な施主(発注者)は誰ですか。【あてはまるものに○(複数可)】		
1. 津波被害を受けた被災者	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
2. 地震被害を受けた被災者(津波被害は受けていない)	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
3. 原発事故の指定区域から避難している被災者	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
4. 原発事故の指定区域が解除され、元の居住地に戻った被災者	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
5. 津波・地震被害も原発事故の影響も大きく受けていない方(被災者以外の方)	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
6. 分譲事業者(デベロッパー等)	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
7. 行政・UR	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
8. その他	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
② 現在の主な建設地はどこですか。【あてはまるものに○(複数可)】		
1. 浸水被害のなかった地域	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
2. 浸水被害があった地域	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
<b>3. 元請の木造住宅新築工事(建替え含む)の実施体制等について教えてください</b>		
・1年を超える場合でも「月数」でご回答ください。(例:1年3ヶ月 ⇒15ヶ月と回答) ・概ねの状況として把握されている範囲でご回答いただければ十分です。(精緻な数値である必要はありません)		
① 現在の契約～着工までの期間	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> ヶ月程度
② 現在の着工～完成・引渡までの期間	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> ヶ月程度
<選択肢> <input style="width: 100px;" type="text" value="1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない"/>		
③ 貴社の受注対応力には、余裕がありますか。	:	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
④ 貴社では、他の市町村・県から、大工・職人等の応援は呼んでいますか。	:	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
⑤ 貴社では、大工・職人等の宿泊施設は足りていますか。	:	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
⑥ 人材不足は、どの工事段階で見られますか。【あてはまるものに○(複数可)】		
1. 仮設工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
2. 基礎工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
3. 木工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
4. 屋根・板金工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
5. 建具工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
6. 外装工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
7. 左官・タイル工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
8. 塗装工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
9. 内装工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
10. 雑工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
11. 電気設備工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
12. 給排水衛生工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
13. 冷暖房設備工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
14. その他の工事	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>
15. 人材不足はない	→	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="checkbox"/>

⑦ 不足している建材・資材等はどれですか。【あてはまるものに○(複数可)】

- |                        |   |                          |           |   |                          |                   |   |                          |
|------------------------|---|--------------------------|-----------|---|--------------------------|-------------------|---|--------------------------|
| 1. コンクリート<br>(砂利・生コン等) | → | <input type="checkbox"/> | 2. 木材     | → | <input type="checkbox"/> | 3. 外装材・<br>内装材    | → | <input type="checkbox"/> |
| 4. 住設機器                | → | <input type="checkbox"/> | 5. その他の資材 | → | <input type="checkbox"/> | 6. 建材・資材<br>不足はない | → | <input type="checkbox"/> |

⑧ グループ内の工務店等において、建材・資材の共同購入・仕入れをする  
予定や意向はありますか 【あてはまる番号1つを右欄に記入】

- |                |                       |   |                          |
|----------------|-----------------------|---|--------------------------|
| 1. すでに取り組んでいる  | 2. 取組み準備中 または 今後取組む予定 | : | <input type="checkbox"/> |
| 3. 予定はないが取組みたい | 4. 取組む予定・意向とともない      |   |                          |

⑨ 貴社では、現在何ヶ月先までの新築工事契約が決まっていますか。  
(新たな工事契約が決まっていない場合は「0」とご回答ください。)

→ ヶ月程度  
先まで

⑩ 現在、懸念していることはどのようなことですか。【あてはまるものに○(複数可)】

- |                                  |   |                          |                                     |   |                          |
|----------------------------------|---|--------------------------|-------------------------------------|---|--------------------------|
| 1. 資材・人材不足等による工事<br>の遅れ、工期の不透明さ  | → | <input type="checkbox"/> | 2. 熟練した大工・職人の不足等に<br>よる施工精度やスピードの低下 | → | <input type="checkbox"/> |
| 3. 契約金額を超えるような<br>建設費の高騰         | → | <input type="checkbox"/> | 4. 需要の減少による受注量の低下                   | → | <input type="checkbox"/> |
| 5. 造成の遅れ等による今後の<br>受注・着工見通しの不透明さ | → | <input type="checkbox"/> | 6. その他                              | → | <input type="checkbox"/> |
| 7. 問題は特に感じていない                   | → | <input type="checkbox"/> | 8. わからない                            | → | <input type="checkbox"/> |

4. 元請の木造住宅新築工事のコストの状況について教えてください

- ・ 工事単価は、貴社で手掛ける一般的な新築住宅(震災前後で同じもの)についてご回答ください。
- ・ 概ねの状況として把握されている範囲でご回答いただければ十分です。(精緻な数値である必要はありません)

① 現在の工事単価(請負金額) : 万円/坪  
(千円以下四捨五入)

5. 地域材(自県産材)の活用の問題点について教えてください

① 地域材(自県産材)活用の問題点 【あてはまるものに○(複数可)】

- |                  |   |                          |                   |   |                          |
|------------------|---|--------------------------|-------------------|---|--------------------------|
| 1. 価格が高い         | → | <input type="checkbox"/> | 2. 自県産材が不足し、調達が困難 | → | <input type="checkbox"/> |
| 3. 自県産材は品質に不安がある | → | <input type="checkbox"/> | 4. 調達ルートがよく分からない  | → | <input type="checkbox"/> |
| 5. 需要が少ない        | → | <input type="checkbox"/> | 6. その他            | → | <input type="checkbox"/> |
| 7. 問題は特に感じていない   | → | <input type="checkbox"/> | 8. わからない          | → | <input type="checkbox"/> |

6. 今後のマッチングサポート制度の活用意向について教えてください

① 頻発する豪雨や地震などの災害を想定した場合、「職人融通支援」や「資材確保支援」に係る  
マッチング制度を活用する意向はありますか。【あてはまる番号1つを右欄に記入】

- |                             |                    |   |                          |
|-----------------------------|--------------------|---|--------------------------|
| 1. 「職人融通支援」「資材確保支援」ともに活用したい | 2. 「職人融通支援」のみ活用したい | : | <input type="checkbox"/> |
| 3. 「資材確保支援」のみ活用したい          | 4. どちらも活用する意向はない   |   |                          |

② ①で、「4. どちらも活用しない」を回答した場合は、理由をお書きください。

7. 東日本大震災の復興後を見据えた地域住宅生産者グループに期待する取組みについて教えてください

【あてはまるものに○(複数可)】

- |   |   |                          |
|---|---|--------------------------|
| 1. 地域型復興住宅(自ら又はグループが建設した)等の点検・維持管理・増改築への取組み         | → | <input type="checkbox"/> |
| 2. 既存住宅の耐震や断熱等に配慮したリフォームへの取組み(長期優良住宅化リフォームへのチャレンジ等) | → | <input type="checkbox"/> |
| 3. 空家や空き施設等を活用し、移住者や二地域居住者向けのリフォーム・リノベーションへの取組み     | → | <input type="checkbox"/> |
| 4. 非住宅(公共施設や店舗、事業所等)における木造化・木質化への取組み                | → | <input type="checkbox"/> |
| 5. 今後起こりうる被災地への技術支援(応急修理や応急仮設住宅の建設における現地協力・派遣)      | → | <input type="checkbox"/> |
| 6. その他(具体的に記入してください)                                | → | <input type="checkbox"/> |

8. 今後の地域住宅生産者グループの活動への要望や必要な支援、その他(コロナ禍の住宅受注・建築状況等)意見を自由にご記入ください

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

<参考②> 沿岸市町村・内陸市町村について

	沿岸市町村	内陸市町村	
岩手県	宮古市	盛岡市	紫波町
	大船渡市	花巻市	矢巾町
	久慈市	北上市	西和賀町
	陸前高田市	遠野市	金ヶ崎町
	釜石市	一関市	平泉町
	大槌町	二戸市	住田町
	山田町	八幡平市	軽米町
	岩泉町	奥州市	九戸村
	田野畑村	雫石町	一戸町
	普代村	葛巻町	
	野田村	岩手町	
	洋野町	滝沢市	

	沿岸市町村	内陸市町村	
宮城県	仙台市	白石市	大衡村
	石巻市	角田市	色麻町
	塩竈市	登米市	塩美町
	気仙沼市	栗原市	涌谷町
	名取市	大崎市	美里町
	多賀城市	蔵王町	
	岩沼市	七ヶ宿町	
	東松島市	大河原町	
	亘理町	村田町	
	山元町	柴田町	
	松島町	川崎町	
	七ヶ浜町	丸森町	
	利府町	大和町	
	女川町	大郷町	
	南三陸町	富谷町	

	沿岸市町村	内陸市町村	
福島県	いわき市	福島市	湯川村
	相馬市	会津若松市	柳津町
	南相馬市	郡山市	三島町
	広野町	白河市	金山町
	楡葉町	須賀川市	昭和村
	富岡町	喜多方市	会津美里町
	大熊町	二本松市	西郷村
	双葉町	田村市	泉崎村
	浪江町	伊達市	中島村
	新地町	本宮市	矢吹町
		桑折町	棚倉町
		国見町	矢祭町
		川俣町	塙町
		大玉村	鮫川村
		鏡石町	石川町
		天栄村	玉川村
		下郷町	平田村
		檜枝岐村	浅川町
		只見町	古殿町
		南会津町	三春町
		北塩原村	小野町
		西会津町	川内村
		磐梯町	葛尾村
		猪苗代町	飯館村
		会津坂下町	